M3 Sky　取扱説明書

本製品をご利用になる前に、本書の「取扱上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

なお、取扱説明書（本書）及びCDに内蔵されているプログラムはM 3モバイルのホームページからもダウンロードできます。

M3 MOBILE
Your Best Mobile Business Partner

はじめに

- 本取扱説明書の現状のまま提供されるものであり、内容は予告なく変更される場合があります。
  また、場合によっては技術的特徴の説明が困難なため、内容の間違い及び記載洩れを含む場合があります。
- (株）M3モバイルは、本取扱説明書に関して、その機能、品質、特定目的との適合性等を含む全てを保証するものではありません。
- M3 SKY以外から提供されたアプリケーションプログラムを使用している場合は、各所有プログラムの取扱説明書を参照してください。
- 各アプリケーションプログラムの提供社は製品の箱、又はプログラムにM3SKYターミナルに関するカスタマーサービス連絡先を記載する義務があります。
- （株）M3モバイルは、M3SKY製品が工場から発送された後にインストールされた第三者のプログラムによって起こった欠陥や故障の責任は一切負いません。

著作権

- 本取扱説明書は著作権及び著作隣接権にて保護されています。
- （株）M3モバイルの許可なく取扱説明書の内容の全部、または一部を複製、改ざん、翻訳することは禁止されています。
- （株）M3モバイルは携帯電話会社の要請に応えるため、各プログラムの提供元に保証を義務付ける権利があります。
- 取扱説明書の内容は著作権法で保護されています。（株）M3モバイルの了解なく、取扱説明書の内容を複製、製版、配布することは違法です。
- Windows、Microsoft Office、Outlook、ActiveSync、Internet ExplorerはMicrosoftの登録商標です。
- Microsoft, ActiveSync, Windows, Windows ロゴ, Windows Mobile 5.0 ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Microsoft OEM製品はMicrosoft Corporationの子会社のMicrosoft Licensing Inc.によってライセンス供与されています。
- M3SKYは（株）M3モバイルの登録商標です。
- 本書に記載されているその他の製品名、サービス、商標、および登録商標は各所有企業に帰属します。

M3 SKY取扱上のご注意（１）

- 使用上の注意
  - ・携帯電話ＳＩＭカードを装着した状態で本体を紛失、又は盗難にあった場合は直ちに携帯電話会社にお知らせください。
  - ・許可を得ずに第三者への貸し借りを行うことは禁止されています。
  - ・運転中のご利用はお控えください。
  - ・技術的なサポートが必要な場合、最寄のサービスセンターにご連絡ください。
  - ・本体とインストールされている基本プログラム以外のアプリケーションやプログラムの質問は各提供者へご連絡ください。
  - ・（株）M3モバイルが供給したアダプターとアクセサリーをご使用ください。
    （株）M3モバイル以外から供給された電池、充電器、アクセサリーを使用中に起こった故障については保証対象外となります。

- 持ち運びと保管上の注意
  - ・高温や高湿度の環境でのご使用はお控えください。本体が損傷する場合があります。
  - ・高いところから落とさないようご注意ください。本体が損傷する場合があります。
  - ・初回使用の前に電池を完全に充電してください。

M3 SKY取扱上のご注意（2）

- 改造は行わないでください。
  - ・M3SKYの改造は行わないでください。
  - ・本体の炎上、感電につながる可能性があります。
  - ・改造によって起こった故障は保証対象外となります。

- 携帯電話ＳＩＭカードの違法コピーは禁じられています。
  - ・携帯電話ＳＩＭカードの違法コピーの生産、使用は犯罪です。
  - ・紛失、又は盗まれた携帯電話ＳＩＭカードの保有は犯罪とみなされます。

サイズと機能

周波数帯		WCDMA : 2100 / GSM 850 (TX) 824 ~ 849 MHz / (RX) 869 ~ 894MHz WCDMA : 1900 / GSM 900 (TX) 880 ~ 915 MHz / (RX) 925 ~ 960MHz WCDMA : 850 / GSM 1800 (TX) 1710 ~ 1785 MHz / (RX) 1805 ~ 1880 MHz GSM 1900 (TX) 1850 ~ 1910 MHz / (RX) 1930 ~ 1990 MHz
帯域幅		200 KHz (GSM) / 5MHz (3G)
サイズ		78.6 x 163.5 x 24.9mm (Width x length x height)
重量		320g
動作温度	本体	-10 °C ～ +50 °C
	アダプター	-10 °C ～ +50 °C
動作湿度		5% ～ 80%
AC電源		入力 : AC 100 ～ 250V, 50 ～ 60Hz 出力: DC +5.2V, 3.0A

⚠ アンテナによってサポートされている周波数帯が変わる場合があります。

目次

- はじめに 2
- 著作権 3
- M3 SKY 取扱上のご注意 4
- サイズと機能 6

1. M３の基本説明 9
   - 箱の中身の確認 10
   - 各部の名称と機能 12
   - 入力ボタン 13
   - ソフト・ハードリセット 14
   - スタイラスペンの使用 15
   - LED、電池の取り外し 16
   - 充電 17
   - PCとの接続 18

2. 基本的な操作 19
   - 設定・調整 20
   - メイン画面 23
   - 入力画面 24

3. ActiveSync 29
   - ActiveSyncの基本説明 30
   - ActiveSyncをインストールする 31
   - データのシンクロ 32

4. インターネットの使い方 33
   - HSDPA経由 34
   - ワイヤレスLAN経由 36
   - ウェブサイトを見る 39

目次

5. 電話の使い方 44
待受画面 45
電話の操作 46
電話をかける・受ける 47
電話帳 48
ショートメッセージを送る・受ける 49
電話機能 51
電話設定 52

6. 製品使用方法 53
カメラ 54
Bluetooth 58
赤外線通信 63
GPS 64
スキャナー 66
RFID 72

1. 基本説明

- 箱の中身の確認
- 各部の名称と機能
- 入力ボタン
- ソフト・ハードリセット
- スタイラスペンの使用
- LED、電池の取り外し
- 充電
- PCとの接続

箱の中身の確認（１）

- 箱を開封したら下記に表記されている部品がそろっているか確認してください。

M3SKY 本体
電池パックｘ２

クレードル
USBケーブル

CD

イヤホンマイク
スタイラスペン2本

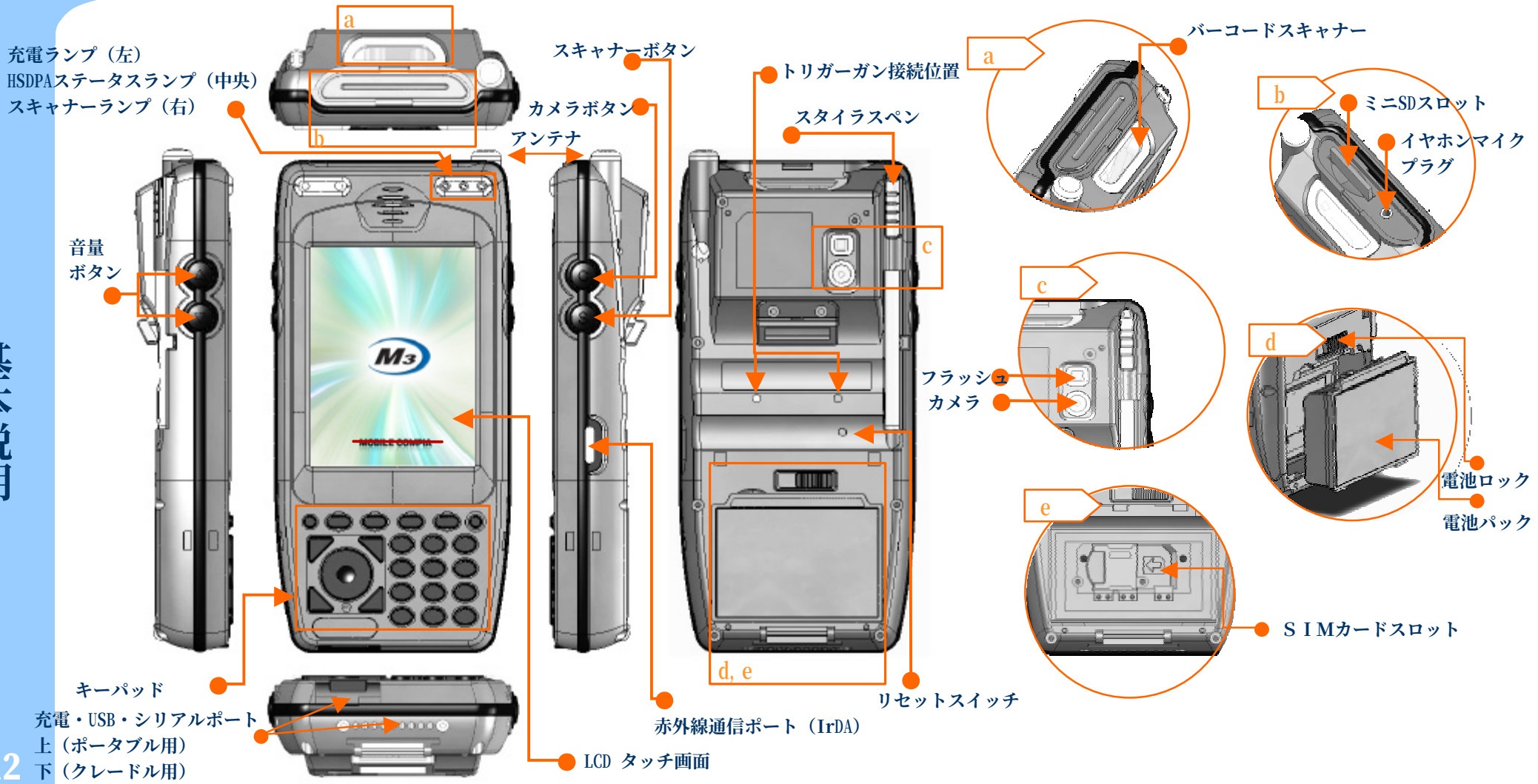
ポータブルアダプター

⚠ 箱の中身は商品構成によって異なる場合があります。

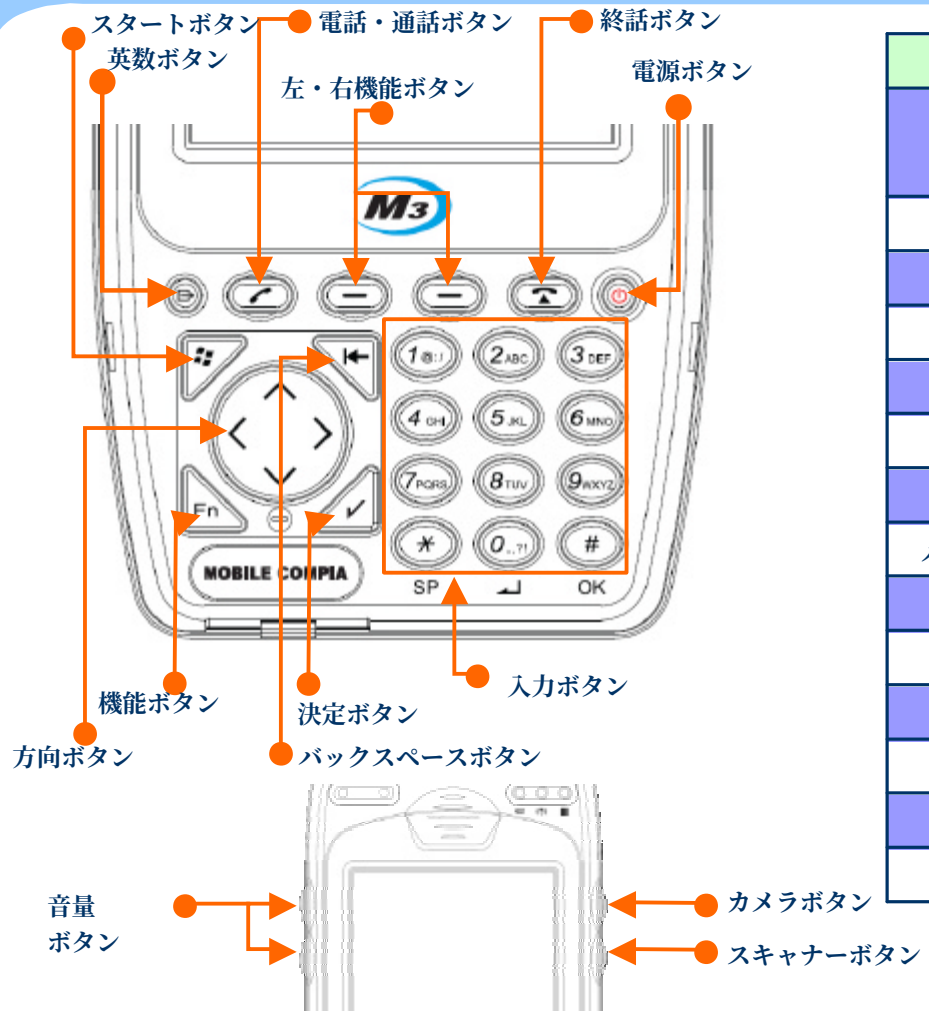
箱の中身の確認（2）

- 取扱説明書の使い方
  - ・本書はM3SKYをより早く、より簡単に使用できるように詳細な説明を提供しています。
  - ・本書に記載されている通話やコミュニケーション機能はM3SKYにHSDPAモジュールが装着され、通話・データプランに入っていることを前提としています。
  - ・オプション機能が付属されていない場合、本書に記載されている機能は使用できない場合があります。（WWAN,、WLAN、 Bluetooth、 赤外線通信、スキャナー、カメラ、GPS)
  - ・取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。

各部の名称と機能


a
b
充電ランプ（左）
HSDPAステータスランプ（中央）
スキャナーランプ（右）
スキャナーボタン
カメラボタン
アンテナ
トリガーガン接続位置
スタイラスペン
c
音量
ボタン
M3
MOBILE COMPUTER
d, e
キーパッド
充電・USB・シリアルポート
上（ポータブル用）
下（クレードル用）
LCD タッチ画面
赤外線通信ポート（IrDA）
リセットスイッチ
a
バーコードスキャナー
b
ミニSDスロット
イヤホンマイク
プラグ
c
フラッシュ
カメラ
d
電池ロック
電池パック
e
ＳＩＭカードスロット

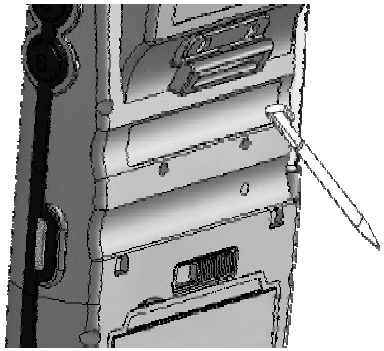
入力ボタン



各部名称	機能
電源ボタン	電源ON・OFF
	長押しでメニューを開く（バックライト、表示、Etc.）
電話・通話機能	通話を受ける・通話を開始する
終話機能	通話を終了する・通話を拒否する
入力ボタン	英数を入力する
左・右ボタン	設定された機能・アプリケーションを立ち上げる
英数ボタン	英数入力を切り替える
スタートボタン	スタートメニューを開く
バックスペースボタン	バックスペース
機能ボタン	（*、0、#）等と押しコマンド入力を行う
方向ボタン	上、下、右、左へ移動する
決定ボタン	ENTER
スキャナーボタン	バーコードスキャナー起動
カメラボタン	写真とビデオ画面を起動
音量ボタン	上：音量を上げる・下：音量を下げる

⚠ オプションによって上記の操作がサポートされていない場合があります。

ソフト・ハードリセット



- **ソフトリセット**
  - ソフトリセットを行うことで、コンピュータの再起動にあたる動作を行います。
  - 本体を再起動させ、メモリーの割り当てを解放します。
  - ソフトリセットで保存済みの履歴や入力された項目等は消えません。
  - ソフトリセットを行ったときに起動中のプログラムの保存前のデータは消失する場合があります。

- **ハードリセット**
  - ハードリセットを行うと本体の電源供給が切られます。
  - ハードリセットを行うと全履歴、入力項目、追加インストールされたプログラム等は消去され、本体を初期状態に戻します。
  - ソフトリセットで問題が改善しない場合のみハードリセットを行ってください。

- **ハードリセットの仕方：**

  →電源ボタンを12秒以上押して電源を落とす。（LCDの消滅で電源ＯＦＦを確認できます）

  →通話と終話ボタンを押しながら電源ボタンを押してください。

  →再フォーマット画面が表示され「全データが消去されます」 再フォーマットしますか？

  ‘1.はい。０.いいえのメッセージがでます。１を押すとハードリセットが開始されます。

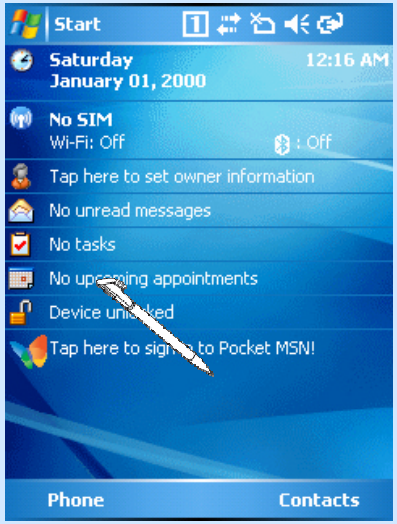
再フォーマット後、日付、時間、時間帯の設定を行ってください。 その後電源を切ってください。

スタイラスペンの使用

基本説明

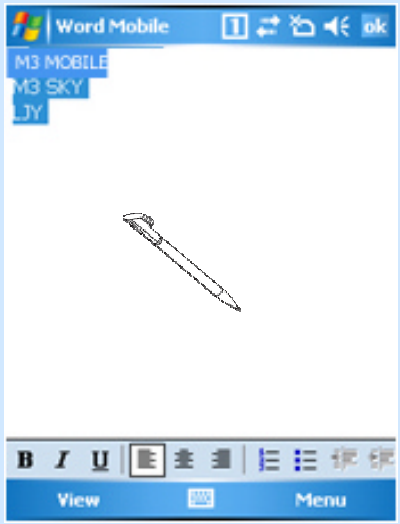
- **タッチ**

  スタイラスペンを使って
  タッチ画面を一回タッチすると
  ファイルやプログラムを実行する
  ことが出来ます。



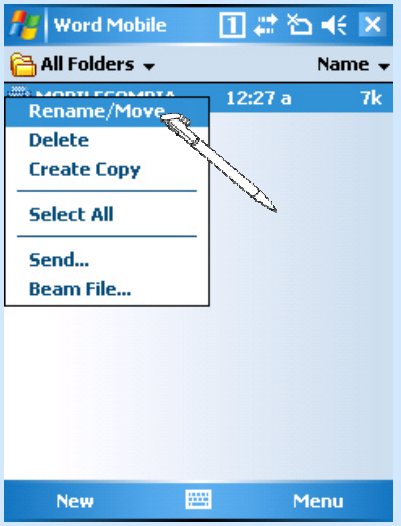
- **スライド**

  テキストや文字などを選択すること
  が出来ます。
  選択したい部分をスタイラスペンで
  スライドさせて選択してください。



- **長押し**

  スタイラスペンを使って
  画面を長押しすることで、
  画面のポップアップメニューを
  選択することが出来ます。
  又、ポップアップメニューの項目の
  選択も可能です。
  起動しているプログラムによって
  ポップアップメニューの内容は異なる
  場合があります。



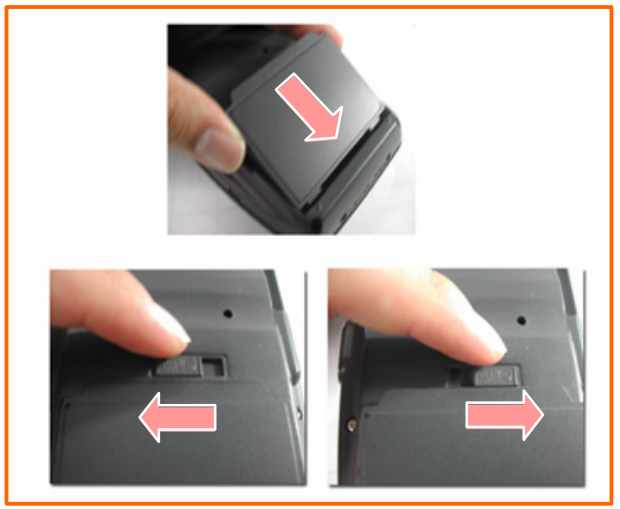
LED表示、電池の取り外し

- LED表示
  - 充電、スキャナーの状態を表示する。

タイプ	LEDの状態	説明
充電 LED	赤 緑	充電中 充電完了
WWAN LED	青の点滅 青 青がついて いない	WWANスタンバイ中 （通話・インターネットの範囲内） WWAN使用中 （通話、ショートメッセージ、 インターネット） WWANは消されている、又は範囲外
スキャナー LED	緑	バーコードのデータの読み取りに成功した

●電池の取り外し

- 電池の取り付け
  下図のように、電池パックをPDA背面に入れ
  ロックキーで固定してください。
- 電池を外す
  ロックキーを右に戻し上のスイッチを使って
  電池パックを本体から外します。



充電

- 充電器の接続部分を本体の充電端子、又はクレードルの電源端子に接続してください。
- 充電中のLED表示

タイプ	LEDの状態	説明
本体に直接接続	赤 緑	充電中 充電完了
クレードルで充電	赤	充電中
予備電池パック充電	緑	充電完了

- 充電中の電池パックの状態は本体の右上にあるLEDで確認することができます。
また、予備の電池パックの状態はクレードルの右下のLEDで確認することが出来ます。

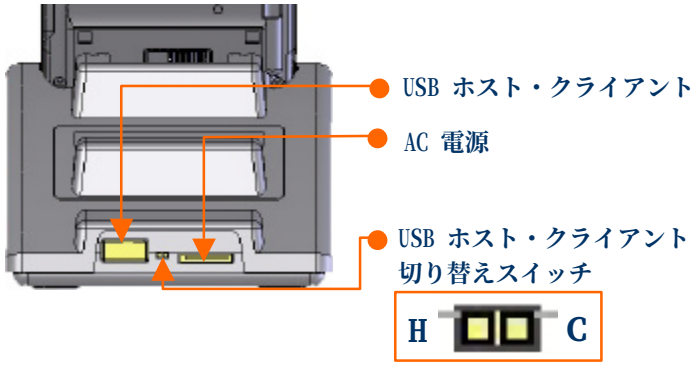
- クレードルで充電

- 充電器を使って充電

⚠ 付属されている電池パック（5.2V/３A）以外は使用しないでください。
⚠ 乱暴に扱かわないでください。乱暴に扱って発生した故障の場合、保証範囲の中に含まれない場合があります。
⚠ 間違った電池パックを使用した場合、爆発する可能性があります。
古い電池パックの廃棄は説明書に指示されているとおりに行ってください。
⚠ 電池パックの電源が完全に切れた場合、充電器を本体に差込みリセットして、画面が表示されるか確認してください。 使用するまえに最低10分以上充電してください。

PCとの接続

- クレードルは充電とUSBでの接続をサポートしています。
  MS SKYのクレードルの接続手順は下記のとおりです。
  - 充電器をUSBに接続してください。 （２４ピンコネクター）
  - 充電器を電源に接続してください。（壁のコンセント）
  - クレードルに接続されているUSBケーブルの他方をPCのUSBポートに接続してください。
  - M3 SKYをクレードルに差込み、PCとのシンクロを行ってください。
- PCのUSBポートはPCの前、後ろ、横のどこかに位置に配置されています。又、デスクトップ、ノートブック、両方ともUSBポートの形状は同じです。
- クレードルのUSBポートにUSBケーブルを差し込むことで、USBホスト機能の利用が可能です。



クレードルの接続

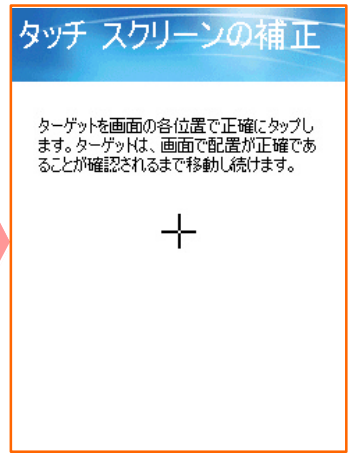
2. 基本的な操作

- 設定・調整
- メイン画面
- 入力画面

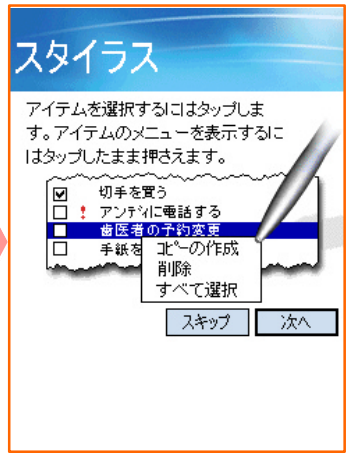
設定・調整（1）

- 最初に使用するときや、ハードリセットを行った後は下記のようにタッチ画面の設定・調整を行ってください。

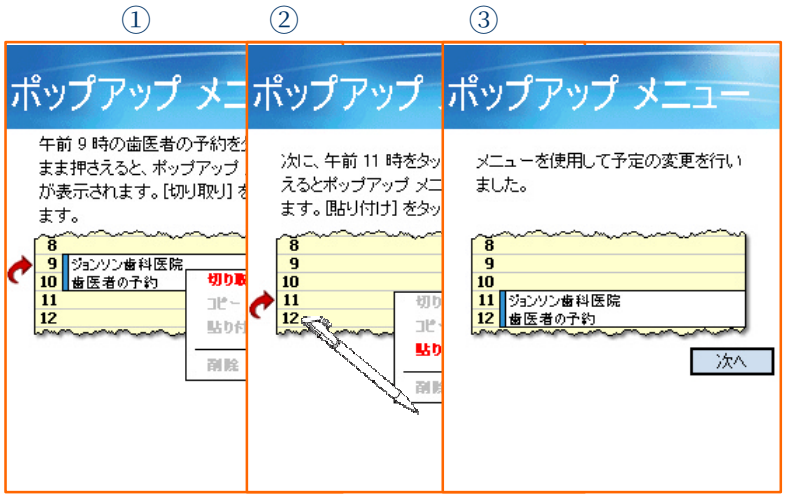
上図画面をスタイラスペンで一回タッチしてください。



ターゲット[＋マーク]をスタイラスペンで正確にタッチしてください。



必要に応じて、画面の指示に従って操作を進めてください。
必要でなければスキップしてください。

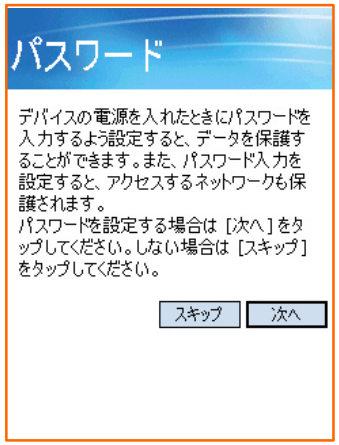


①スタイラスペンで画面枠内を長押しして
ポップアップメニューの「切り取り」を
選択してください。
②スタイラスペンで画面を長押しして
ポップアップメニューの「貼り付け」を
選択してください。
③全てが終わったら「次へ」を押して
ください。

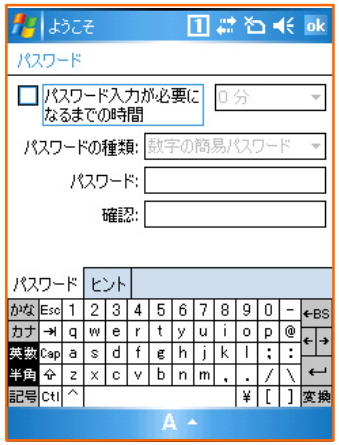
設定・調整（2）

- 設定・調整の続き

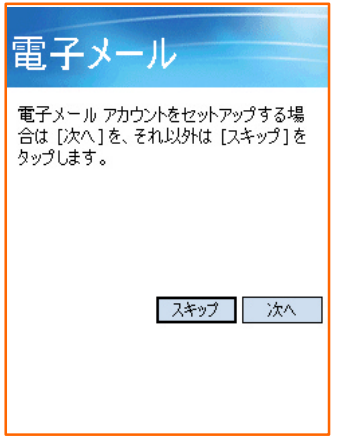
タイムゾーン、日付、
時刻を設定してください。



パスワードを設定する
場合は「次へ」、
しない場合は「スキップ」
を選択してください。



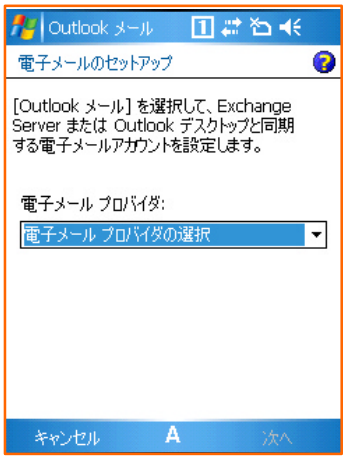
パスワードを入力する
場合は「パスワードの
種類」と「パスワード」を
入力してください。



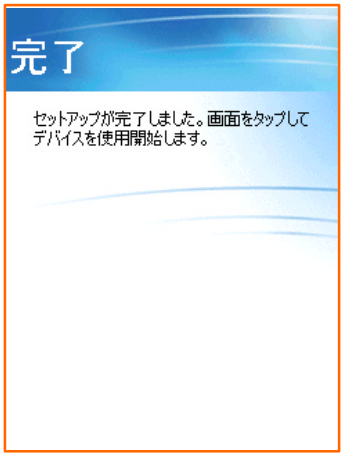
電子メールアカウントを
設定する場合は「次へ」、
しない場合は「スキップ」を
選択してください。

設定・調整（3）

- 設定・調整の続き



電子メールのセットアップで電子メールのプロバイダを選択し、進めてください。



全てが終わったら、画面をタッチしてシステムを立ち上げてください。

設定・調整が終ったあと、上記の画面が表記されます。

メイン画面

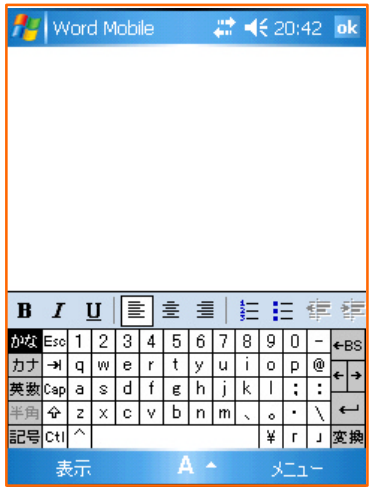
- メイン画面
  - メイン画面は下記のように構成されています 。

ボタン	説明
スタートメニュー	使用したいプログラムを選択してください。
インフォメーションバー	電源、モデム、音声、入力モード、接続状態を表示する。
日付・時間	日付と時間を表示する。
ワイヤレス	ワイヤレスの状態を表示する。
ユーザー	個人情報を表示する。
メッセージ	受信したメッセージ情報を表示する。
タスク	タスク情報を表示する。
予定表	予定表情報を表示する。
ロック	画面ロック情報を表示する。
左・右機能情報	左・右機能の情報を表示する。

入力画面（1）

- 入力方法
  - スタートメニューから「プログラム」＞「ワードモバイル」を立ち上げてください。
- ローマ字/かな入力

「A」をタッチして
「ローマ字/かな」を
選択してください。



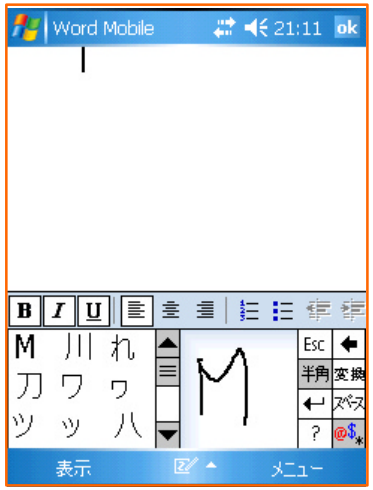
入力キーパッドが表示されます。

キーボード入力画面のアイコンを
タッチすることで文字、数字、符号
を入力することが出来ます。

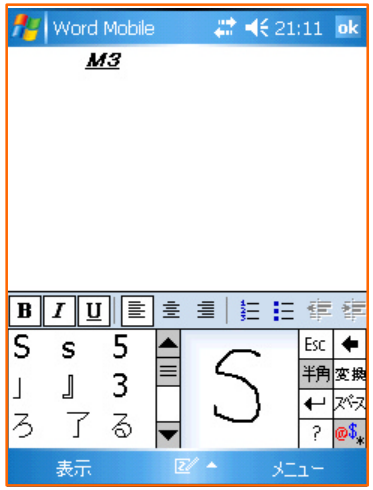
入力画面（2）

- 手書き検索の仕方

「メニュー」をタッチして「手書き検索」を選択してください。



入力ボックスに目的の文字を書き込みます。

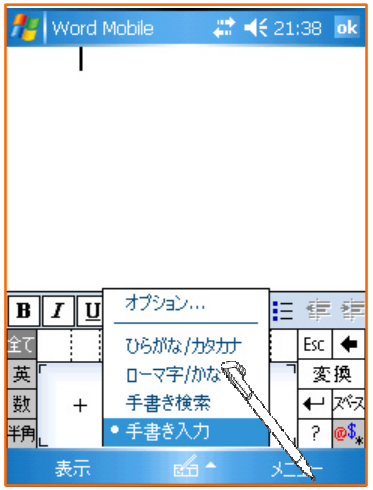


候補ボックスに候補の文字が表示されます。

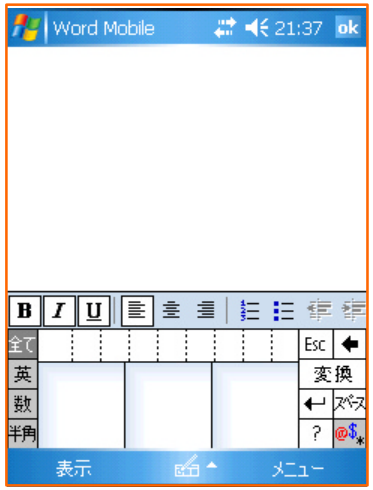
上下の矢印をタップして目的の文字を表示し、その文字をタップしてください。
挿入ポイントに表示されます。

入力画面（3）

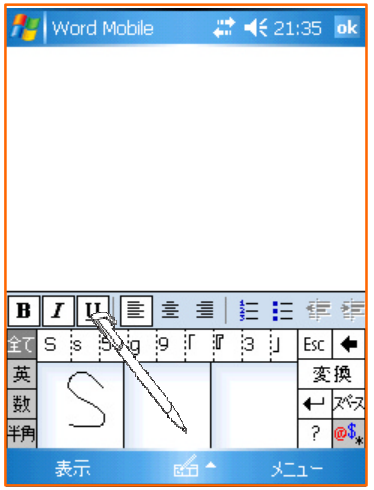
- 手書き入力の仕方



上図に表示されている
ように「A」をタッチして
「手書き入力」を
選択してください。

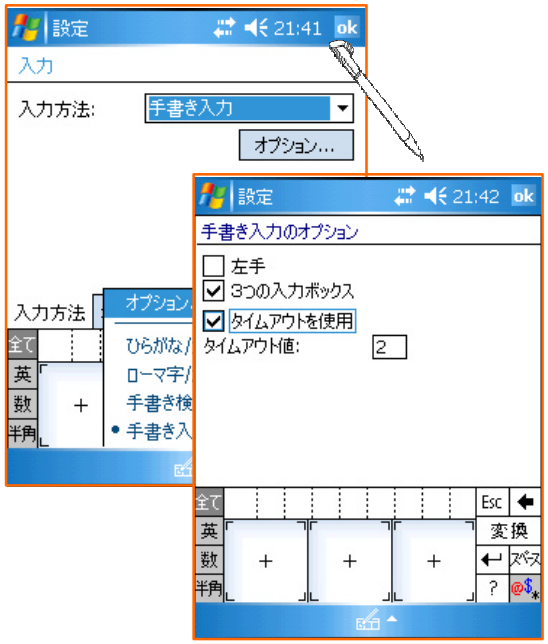


入力ボックスに文字を
書き込みます。



次の文字を書き込むと、
認識された文字が挿入ポイント
に表示されます。

文字が正しく認識されなかった
場合は、入力ボックス上の候補
文字の一覧から、正しい文字を
タップします。



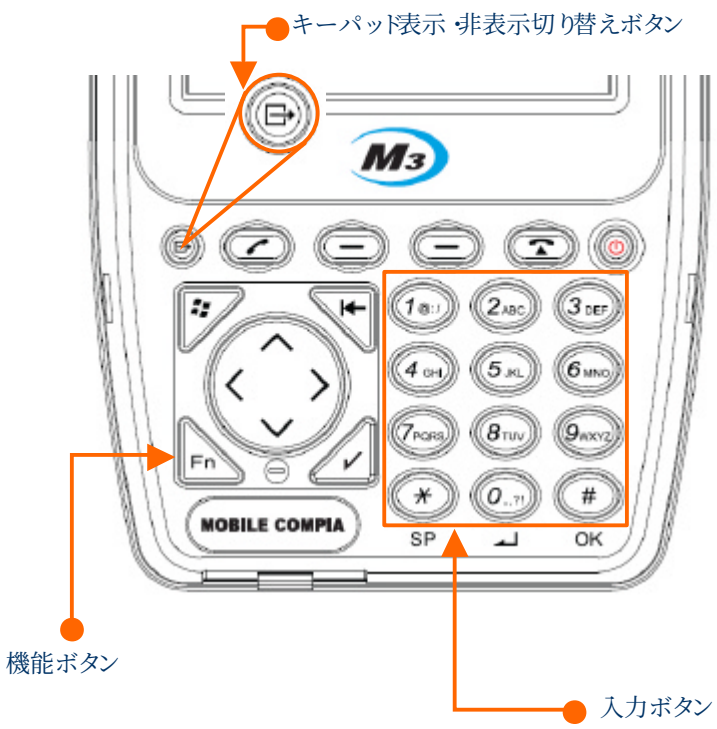
入力方式選択で「オプション」を
選択し、入力方法で「手書き入力」を
指定すると、手書き入力モードの
設定が行えます。

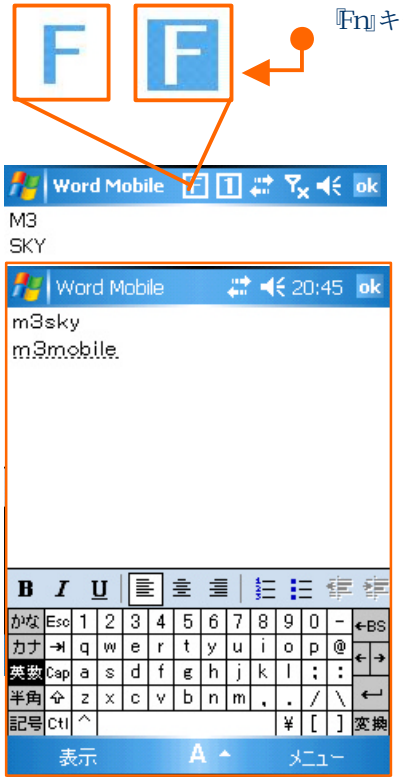
入力画面（4）

『Transcriber 手書き文字認識アプリケーション』は、本機には搭載されていません。

入力画面（5）

- **キーパッドでの入力方法詳細**
  - **キーパッドを使って文字や数字を入力することが出来ます。**





『キーパッド表示 ･非表示切り替えボタン』を押すと、キーパッドが表示 ･非表示を繰り返します。

『Fn』キーを押すと、機能モードは
『Fn』一回モード
＞ **『Fn』持続モード**
＞**『Fn』解除モード**
と切り替わっていきます。

『Fn』モードのときに『*』、『0』、『#』を押すことで『Space』、『Enter』、『OK』のコマンドを実行することが出来ます。

『OK』コマンドは、画面右上の『OK』をタップするのと同等の動作となります。

3. ActiveSync

- ActiveSyncの基本説明
- ActiveSyncをインストールする
- データのシンクロ
- ActiveSyncの問題解決

ActiveSyncの基本説明

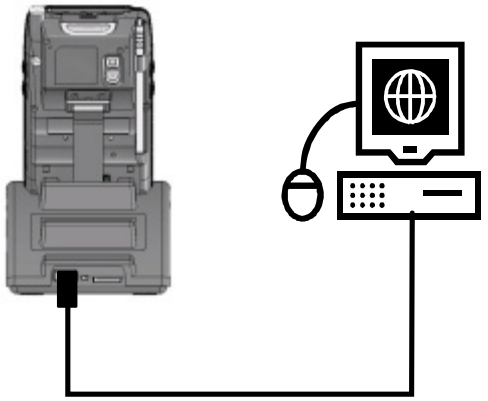
- Syncの概略
  - Syncとは「Synchronization（シンクロナイズ）」の略でPDAとPCのデータをリンクして同調させる事を意味しています。 PDAもしくはPCのデータが変更された場合、もう一方のデータも同様に最新の内容にアップデートされます。
  - 全てのデータは同時にシンクロされません。 Microsoft社が提供しているActiveSyncのオプション設定に基づいてシンクロされます。
- M3SKYをコンピューターに接続することで両方のデータを同調（シンクロ）させることができます。
  その他にもプログラムのインストール、コピー、移動、削除などが出来ます。
- その他のビジネスプログラムのインストール、データのシンクロ、電話帳のシンクロやバックアップ等を行うには本プログラムのインストールが必須です。

⚠ PCにActiveSyncをインストールする前にクレードルのUSBをPCに接続しないでください。
ActiveSyncにPDAのドライバーが内蔵されているので事前に接続するとPCがPDAを認識できなくなる恐れがあります。

ActiveSyncをインストールする・接続する

- ActiveSyncをインストールする
  - 付属CDからActiveSyncのプログラムを選択してPCにインストールしてください。
  - インストールが終了したら接続ウィンドウが起動します。
    USBケーブルを使ってクレードルとPCを接続し、本体をクレードルに設置してください。
  - 本体がPCに認識されたら、ポートが自動的に設定され接続されます。
- パートナーシップの意味
  - パートナーシップとはPCとPDAをペアにし、データの交換を可能にするプロセスです。 このプロセスを行うことでPCとPDAのデータをシンクロすることが出来ます。

※シンクロはOutlook 2003以降のバージョンに対応しています。Windows OSと共にインストールされているOutlook Expressとは対応していません。



PCとのUSB接続

⚠ もし強いノイズや静電気によって接続が失敗した場合はシンクロをもう一度行ってください。

- ホストコンピューターにActiveSyncをインストールするにはバージョン4.1以降をMicrosoft社のウェブサイトからダウンロードしてください。（http://www.microsoft.com）
  ActiveSyncのインストールファイルを参照してください。
- Microsoft社はPDAをホストコンピューターに接続する前にActiveSyncをインストールすることを推奨します。

データのシンクロ

- パソコンにあるMicrosoft ActiveSyncのウィンドウの中にオプションアイコンがあります。
  オプションアイコンをクリックすると「シンクロオプション」、「シンクロモード」、「ルール」などのタブが現れます。

- 「シンクロオプション」はシンクロする項目を選択できるメニューです。
  - コンタクト、カレンダー、電子メール、タスク、メモ、お気に入り、ファイル、メディア等。

- 「シンクロモード」はシンクロさせる方法を決めることが出来ます。
  選択されたシンクロモードにより、3つの方法があります：
  - 接続中、持続してシンクロする： このモードでシンクロを行いたい場合はPDAをコンピュータに接続してください。
    接続したらActiveSyncが自動的にコンピュータとPDAでのユーザー入力等や変更のシンクロを始めます。
  - 接続するときのみ：初めにシンクロした後に再度手動でシンクロを行いたい場合はSyncをクリックしてください。
  - 手動： このモードでActiveSyncは自動的にシンクロを行いません。シンクロを行うにはSyncをクリックしてください。

- シンクロとはPDAとPCのデータを比較しデータをアップデートさせるプロセスです。M3の自己管理手帳のデータ等を含む様々なデータをPCとシンクロすることが出来ます。

ActiveSyncに問題が発生した場合、下記の項目を確認してください。

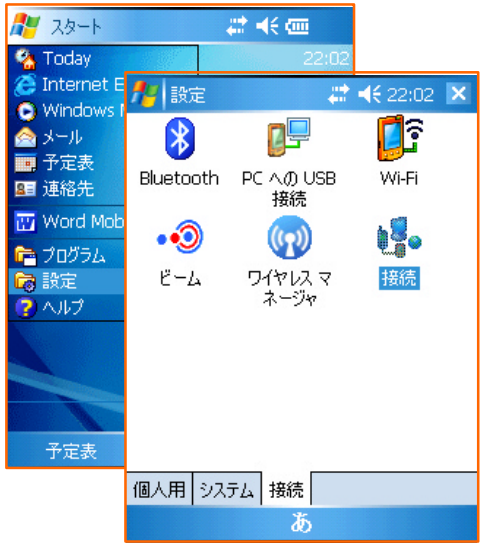
- PCとクレードルの接続が正しいUSBケーブルで繋がれているか確認してください。
- M3SKY、又はLCDの電源ケーブルが正常に作動しているか確認してください。
- ソフトリセット、またはハードリセットを行った後にシンクロを行ってみてください。実行中のプログラムやデータを保存してからリセットを行ってください。

4.インターネットの使い方

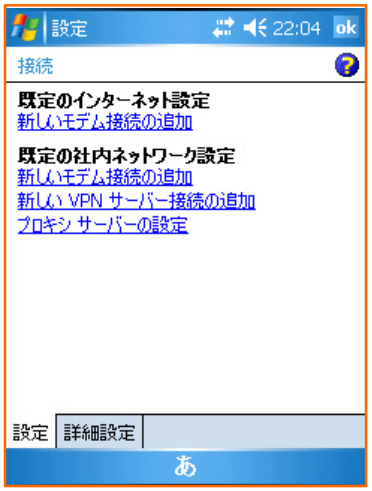
- ワイヤレスWAN経由
- ワイヤレスLAN経由
- ウェブサイトを見る

HSDPA経由（１）

- WANを経由してインターネットに接続する（１）



スタート>設定＞接続＞接続アイコンを選択する。



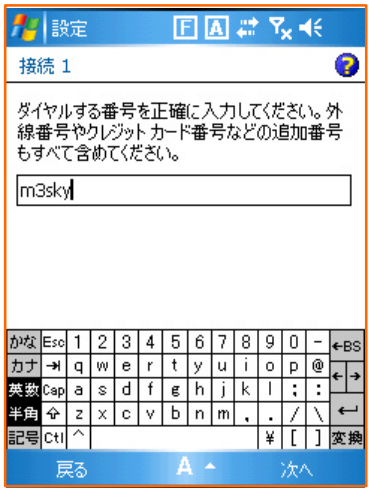
既定のインターネット設定の「新しいモデム接続の追加」を選択する。

「接続名」を入力し、「モデムの選択」には「回線交換(GSM)」を選択してください。

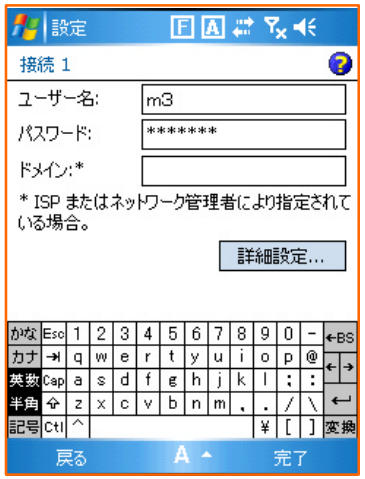
⚠ WWANのサービスをオプションです。
⚠ WWANモジュールがインストールされていない機種には対応していません。

HSDPA経由（2）

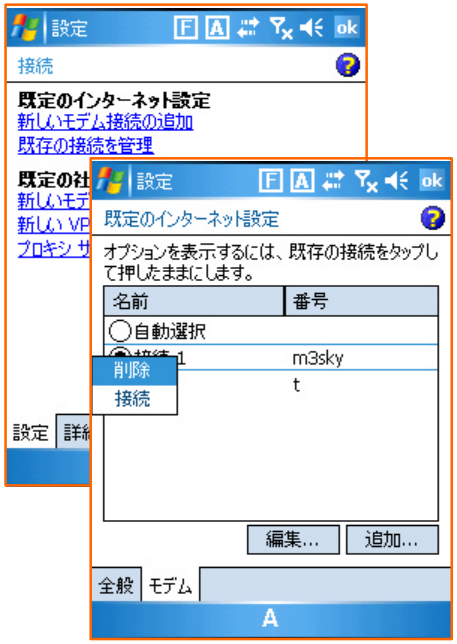
- WANを経由してインターネットに接続する（2）



ダイヤルする番号を入力して、
次へ」をタッチしてください。



設定通りに「ユーザー名」と
「パスワード」を入力し、
完了」をタッチしてください。
（詳細設定で、IPアドレスの
入力が必要がある場合も
あります。）



既定のインターネット設定の
既存の接続を管理」を選択します。
上図のように接続したいISPを選択してください。
*保存された設定は接続時に自動的に適用されます。

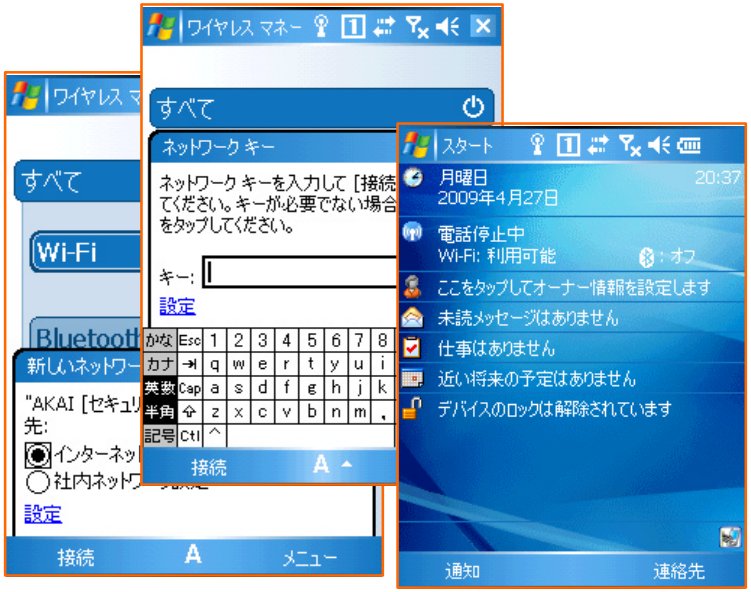
これでWWANを通してインターネットを見ることができます。

ワイヤレスLAN経由(1)

- ワイヤレスLANを経由してワイヤレスネットワークをアクセスすることが出来ます。
- M3 SKYはIEEE 802.1bと802.11gに対応しています。
  （アクセスポイントが設置され、正常に作動していることを前提とします）

メイン画面から『ワイヤレスの状態』アイコンをクリック、
又は
スタート>設定>ネットワーク接続>ワイヤレスマネージャ
を選択する。

ワイヤレスマネージャーから
ＷｉＦｉを選択してWLANをONにする。



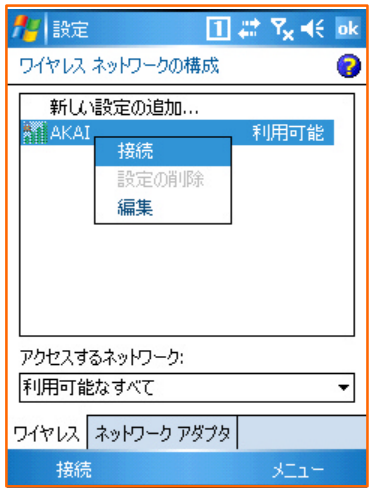
ダイアログボックスが開いたら、接続したいアクセスポイントを
選択してください。

⚠ ワイヤレスLANのサービスをオプションです。
WLANはWLANモジュールがインストールされている機種のみで使用可能です。

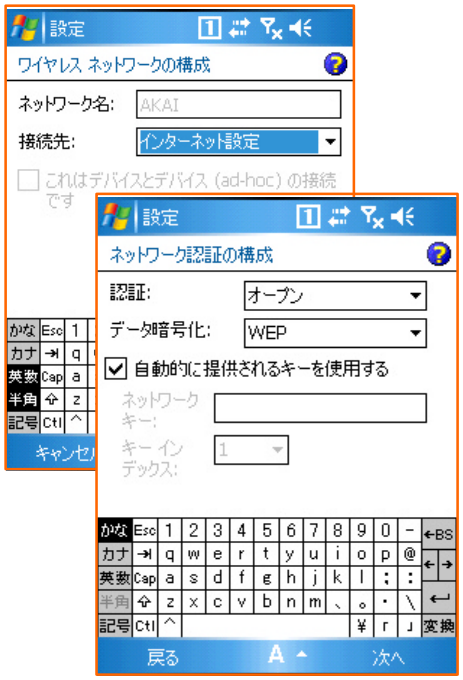
ワイヤレスLAN経由(2)

- Wi-Fiメニューを利用して接続する。

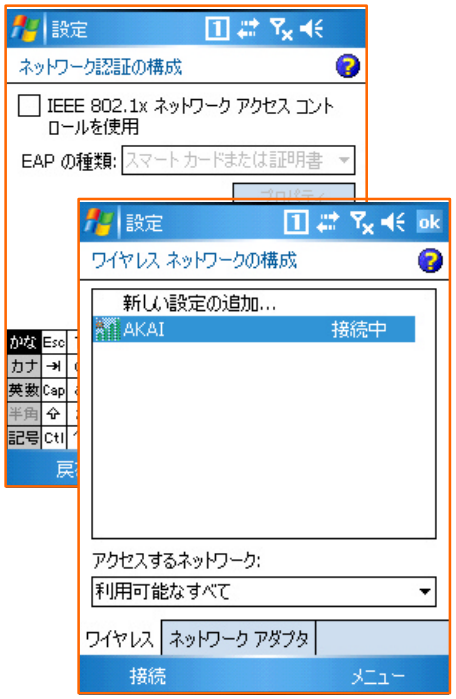
設定画面からWi-Fiアイコンを
クリックしてください。



アクセスポイントを長押しして
編集』をクリックします。



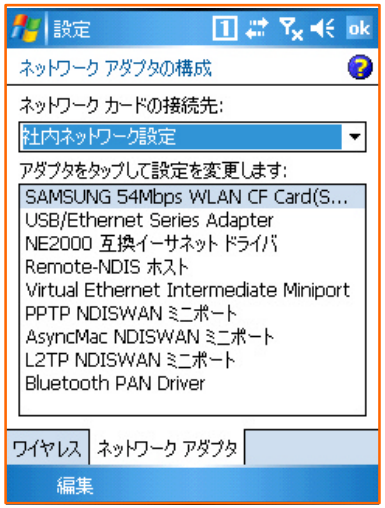
接続タイプを選択して 次へ」をタッチしてください。
認証データーを入力して 次へ」をタッチしてください。



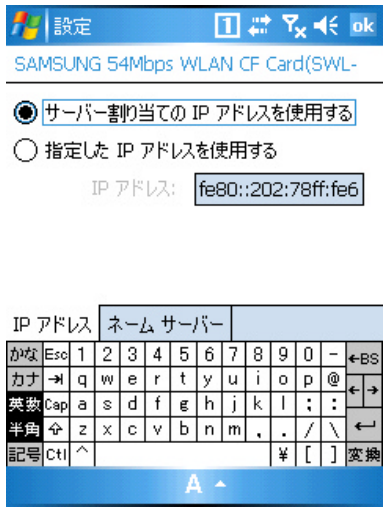
ネットワーク認証を設定したら 完了」を
タッチしてください。

ワイヤレスLAN経由(3)

- 前のページの続き
  - DHCP・固定IPの設定



ワイヤレスLANカードのアダプターを選択して
「編集」をクリックする。



IPをDHCPで設定する場合、
「サーバーが設定するIPアドレスを使用する」
を選択する。

IPを固定で設定する場合、
「指定したIPアドレスを使用する」
を選択する。

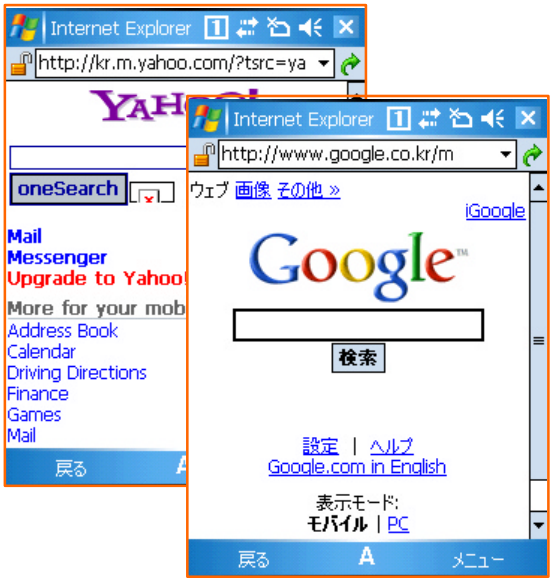
ウェブサイトを見る(1)

- Microsoft Internet Explorer
  - ワイヤレスWAN、ワイヤレスLAN、ActiveSyncを経由してインターネットを見ることができます。
  - インターネットにアクセスすることでプログラムやファイルなどをダウンロードすることが出来ます。

Internet Explorerの使い方

スタート>Internet Explorerを
選択する。

Internet Explorerの画面です。

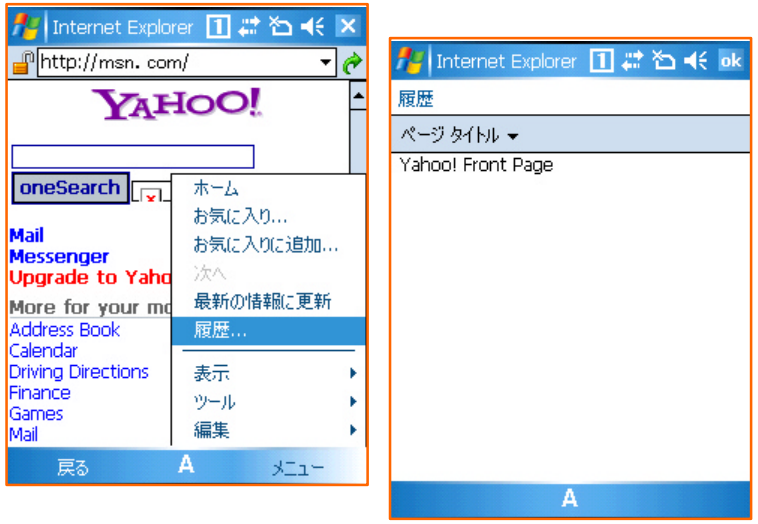


上部分のアドレスバーに閲覧したいサイトのアドレスを
入力してください。
接続しているワイヤレスネットワークを経由してそのアドレスをアクセスします。

ウェブサイトを見る(2)

- 前のページの続き

画面上を長押しして、メニュー＞『お気に入り』から、お気に入りに保存したサイトなどのリストが表示されます。

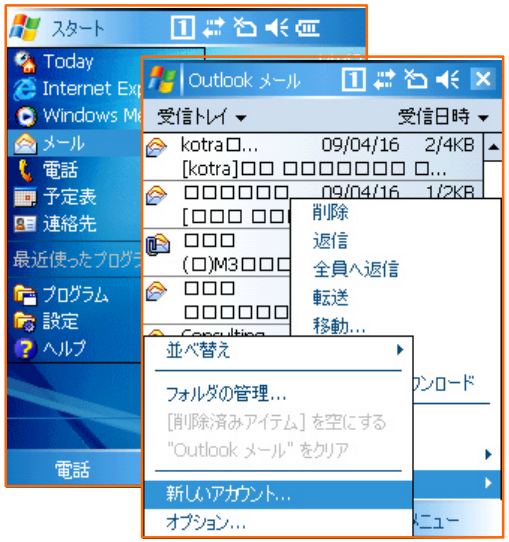


メニュー＞履歴… 最近訪れたサイトのリストが表示されます。この履歴のページは上図に表示されています。

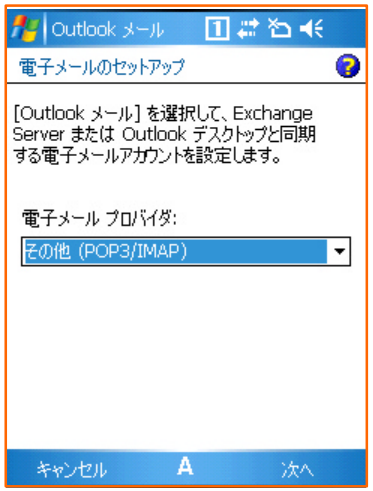
⚠ Internet Explorerの使い方をより詳しく知りたい場合はヘルプメニューをスタート＞ヘルプから起動してください。

ウェブサイトを見る(3)

- Eメールアカウントを設定する

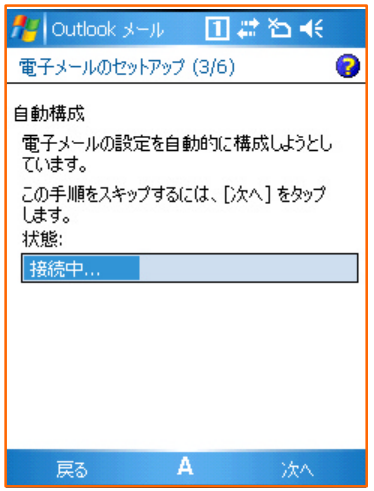


スタート＞メッセージングを選択する。OutlookのEメールボックスから、メニュー＞ツール＞新規アカウントを選択する。



Eメールプロバイダーを「その他」にし、「次へ」をタッチする。

「Eメールアドレスを入力してください」の項目にEメールを入力して「次へ」をタッチしてください。

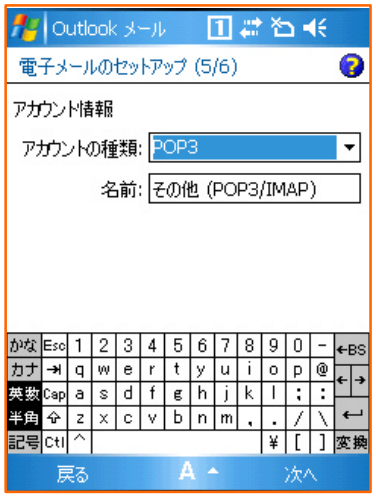


ステータスを「完了」に設定し、「次へ」をタッチしてください。

ウェブサイトを見る(4)

- 前のページの続き

Eメールプロバイダーを 「その他」にし、次へ」をクリックする。



アカウントタイプと名前を入力し、 次へ」をタッチする。

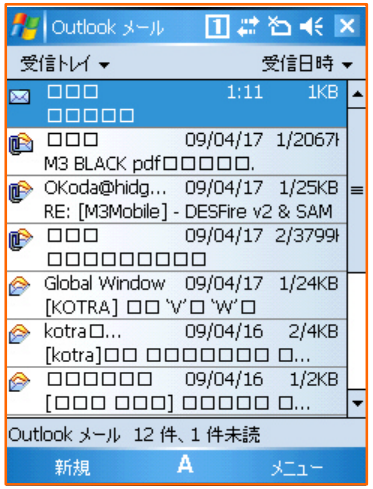
受信メール、送信メール、ドメインを入力し 完了」をタッチする。
*詳細設定をする場合はオプションをタッチしてください。

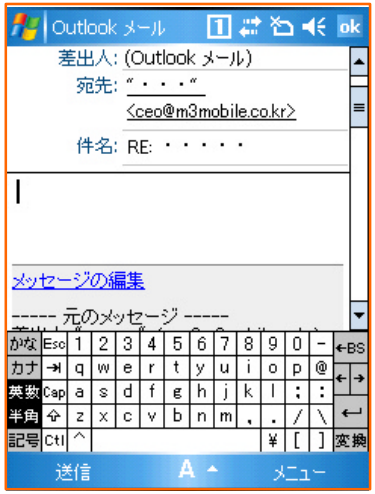
設定し終えたらEメールの送信と受信が可能になります。

ウェブサイトを見る(5)

- Eメールの送信と受信

＜Eメールの受信の仕方＞
メインメニューの中から「メッセージ」を選択する。
メニューの中から 送信 ･受信」を選択すると、受信したメールを読むことが出来ます。





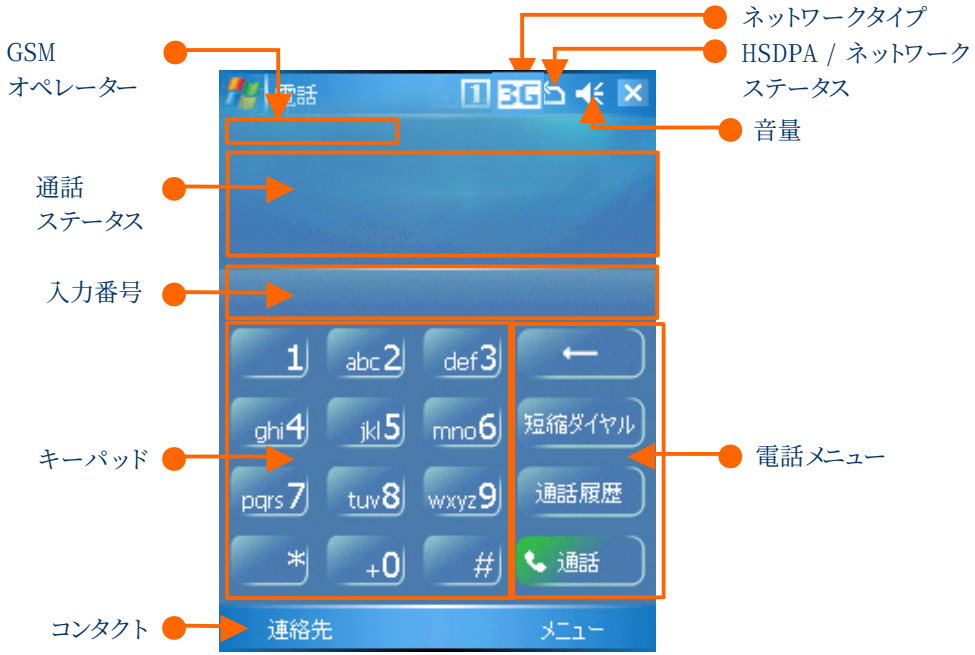
＜Eメールの送信の仕方＞
「メッセージ」を立ち上げたら 新規」を選択してください。
新規メールを書き終えた後に 送信」をクリックすることでEメールを送ることができます。

5. 電話の使い方

- 待受画面
- 電話の操作
- 電話をかける・受ける
- 電話帳
- ショートメッセージを送る・受ける
- 電話機能
- 電話設定

待受画面

- 電話メイン画面



GSMオペレーター	現在のネットワークプロバイダーを表示する。
通話ステータス	通話の状態を表示する
入力番号	入力された番号を表示する。
キーパッド	番号のダイヤル、又は短縮ダイヤルを行うことが出来る。
コンタクト	電話帳を表示する。
ネットワークタイプ	GPRS、EDGE、HSDPAの接続の有無を表示する。
GSM ・ネットワーク ステータス	ネットワーク信号の強度を表示する。
音量	音量調整、バイブを設定する。
電話メニュー	通話、終話、短縮ダイヤル、通信履歴、等。

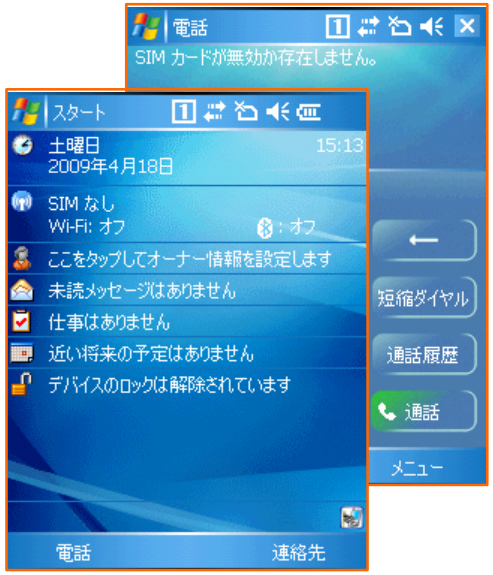
電話の操作

- 電話プログラムのOn/Off

ワイヤレスマネージャーの中で
電話のOn/Offの設定ができます。

- 電話の通話・終話

上図に表示されているように
通話 終話ボタンを押して、
電話プログラムの起動 終了が
できます。



メイン画面左下の 電話』をクリックして
電話プログラム起動します。
又、×ボタンを使ってプログラムを終了することが
出来ます。

電話をかける・受ける

● 電話をかける

電話をかけるには：
1. プログラムのキーパッド、又は電話のキーパッドから番号を入力してください。
2. プログラムの通話ボタン、又は電話の通話ボタンを押して番号をダイヤルしてください。

通話を終了するには：
プログラム、又は電話の終話ボタンを押してください。

● 電話を受ける

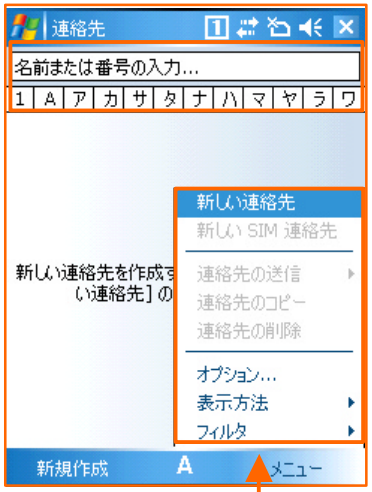
電話に出る」をタッチすることで着信した電話に出ることが出来ます。電話に出たくない場合は 着信拒否」のボタンをタッチしてください。

電話帳

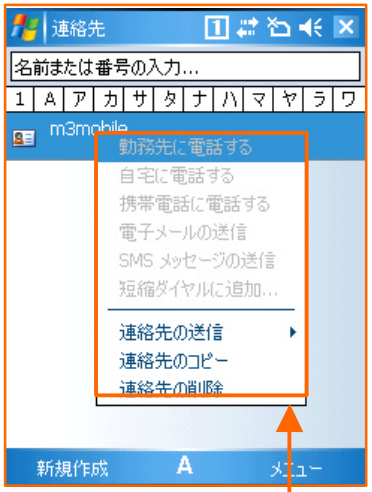
● 電話帳の使い方

電話帳を開くには：
ダイヤル画面左下の 連絡先』をクリックします。

名前・電話
番号の検索



連絡先メニュー



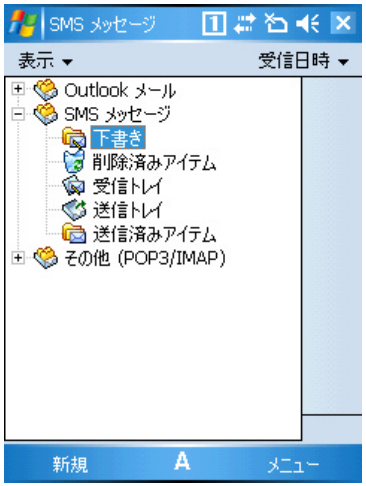
連絡先オプション

連絡先		名前、番号をいれるかタッチすることで連絡先を詮索できます。
連絡先メニュー	新規連絡先	新規に連絡先を入力する。
	新規SIM連絡先	連絡先をSIMカードに入力する。
	連絡先を送る	BEAM、又はSMSを通して連絡先情報を送信する。
	コピー 削除	連絡先をコピー、削除する。
	オプション	連絡先のオプションを設定する。
	表示	連絡先を名前、会社、番号等に分けて表示する。
	フィルター	フィルターしたい情報をフィルターする。
連絡先オプション	W/H/Mをダイヤルする	連絡先に保存されている番号をダイヤルする。
	Eメールを送る	連絡先に保存されているアドレスにEメールを送る。
	SMSを送る	連絡先に保存されている番号にSMSを送る。
	短縮ダイヤルに入れる	連絡先に保存されている番号を短縮ダイヤルに入れる。
	連絡先を送る	BEAM、又はSMSを通して連絡先情報を送信する。
	コピー 削除	連絡先をコピー、削除する。

ショートメッセージを送る・受ける

- SMSの送り方

SMSを送るには、メイン画面から「Outlook（メッセージ情報）」メニューを開いてください。
又、電話帳やその他プログラムの「SMSを送る」を選択してSMSを送ることも可能です。



Outlook画面が表示されたら、「受信トレイ』をクリックして表示を切り替えます。
SMSメッセージから「下書き」を選択して画面左下の「新規」をタッチしてください。

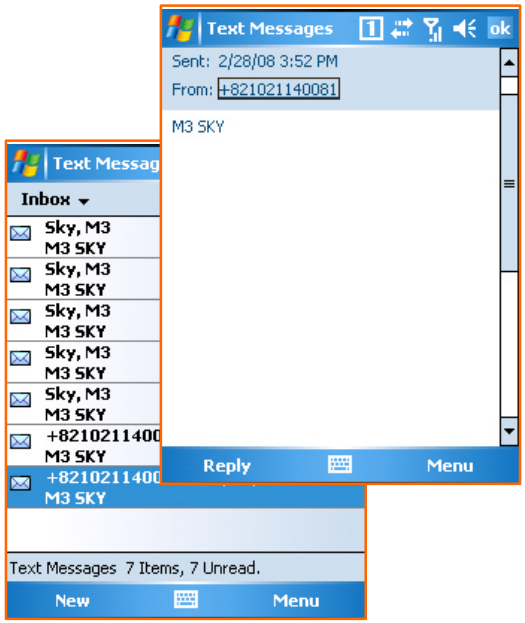
電話番号とメッセージを入力し、終わったら送信をタッチしてSMSを送ってください。

SMSが送信できたらポップアップ画面に送信されたことが表示されます。

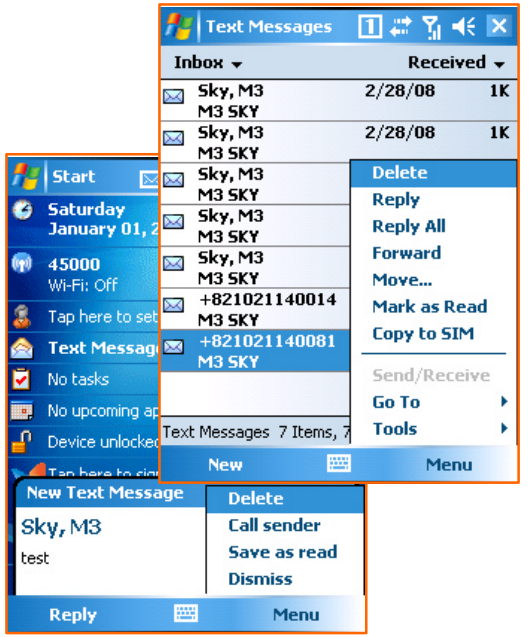
ショートメッセージを送る・受ける（2）

- SMSの受け方

GSMネットワークに接続中は新しいメッセージが入ると上図に表示されているような知らせが表示されます。



受け取ったメッセージをタッチすることで上図に表示されているように新しいウィンドウでメッセージの内容が表示されます。



テキストメッセージのプログラム、又は 新規テキストメッセージ」のお知らせウィンドウのメニューから受け取ったSMSメッセージの管理が行えます。

通話中の操作

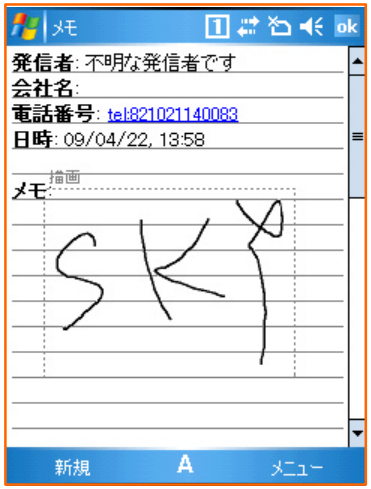
通話中の機能

画面の下にあるボタンをタッチすることで通話中に様々な機能を使うことが可能です。

キーパッド	画面に番号を入力できるモードに切り替わる。
ミュート	マイクから音を拾わないように設定する。
保留	通話を保留する。
コンタクト	電話帳を開ける。
終話	終話する。

通話中に使える機能

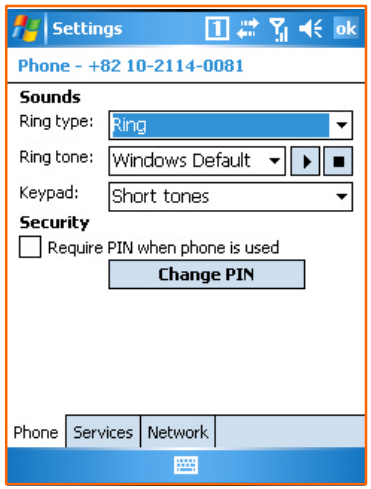
着信履歴を見ることで最近の通話履歴をリストで見れます。



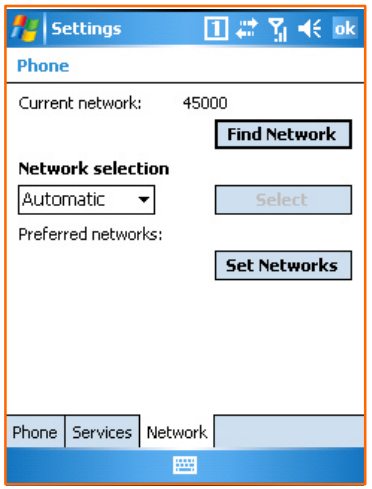
メモを選択することで通話中にメモを取ることができます。

電話設定

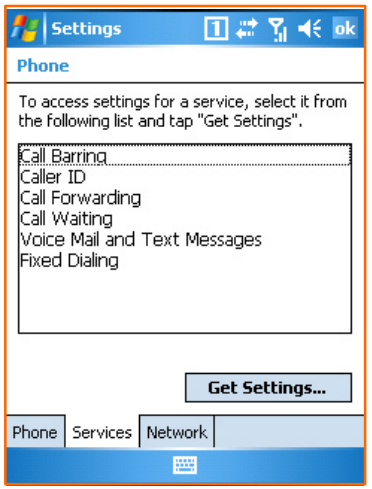
電話設定



スタート>設定>個人タブ>電話をタッチして電話のセキュリティーや音声を設定できます。
もしPINロックを必要としたい場合は 電話を使用するのにPINを必要とする」をチェックしてください。



スタート>個人タブ>電話>ネットワークをタッチしてネットワークの設定を行ってください。
(ネットワークの変更など)



スタート>個人タブ>電話>サービスタブをタッチしてサービスの設定を行ってください。
(ネットワーク内、又はSIM)

通話制限	特定の番号への通話を制限する。
発信者番号通知	発信者番号通知をOn/Offにする。Onにしている場合は受信側にこの電話の番号が表示されます。
自動転送サービス	着信した電話を他の番号に転送することが出来る。
キャッチホン	通話中にかかってきた電話を受けることが出来る。
留守番電話・テキストメッセージ	SMSサービスセンターと留守番電話の番号を設定する。
固定ダイヤル	PIN2を使って電話の機能を制限する。

サービスメニューの説明

6. 製品使用方法

- カメラ
- Bluetooth
- 赤外線通信
- GPS
- スキャナー
- RF-ID

カメラの使い方（1）

- **写真を撮る前に**
  - **M3 SKYに内臓されているカメラは200万画素までサポートしています。**

カメラプログラムの画面

機能	写真	動画	説明
モード	通常、連写、タイマー	該当無し	写真の撮影設定
明るさ	-3, -2, -1, 0, +1, +2, +3		明るさの調整
撮影サイズ	QCIF, QVGA, CIF, VGA ,SVGA, SXGA, UXGA	QCIF, QVGA	サイズの設定
ホワイトバランス	自動、太陽光、くもり、蛍光灯、白熱灯		ホワイトバランスの設定
フラッシュ	フラッシュON／フラッシュOFF		フラッシュの設定
オートフォーカス	オートフォーカスをつける		オートフォーカスの設定

⚠ **カメラ機能はオプションです。 カメラが内臓されていない機種ではカメラ機能は使えません。**
⚠ QCIF(176x144), QVGA(320x240), CIF(352x288), VGA(640x480), SVGA(800x600)
SXGA(1280x960), UXGA(1600x1200)

カメラの使い方（2）

- **カメラプログラムの立ち上げ方**
  - **カメラボタンを押す、又は「画像と動画」の中のカメラアイコンをタッチすることでカメラのプログラムを立ち上げることができます。**

スタートメニューから「プログラム」＞ 画像と動画」を立ち上げてください。

メニューの中のカメラアイコン、又は 画像と動画」の中のカメラアイコンをタッチすることでカメラのプログラムを立ち上げることができます。

⚠ **メニュー＞オプション…＞カメラタブで画像の保存先、保存名、サイズなどを設定することができます。 同様にビデオタブでビデオの設定が行えます。**

カメラの使い方（3）

- 写真の撮り方

カメラプログラムを立ち上げてください。撮影したい対象を動かしてピントを合わせてください。
カメラボタンを押して写真を撮ってください。
カメラボタンを立ち上げてしばらく操作を行わず待機させるとプレビューモードからスタンバイモードに切り替わります。
プレビューモードに戻るには画面をタッチするかカメラボタンを押してください。

撮影した画像が写真を撮影した後に画面に表示されます。
カメラプログラムを立ち上げたい場合は下のカメラボタンを押す、又はウィンドウの左側のカメラアイコンをタッチしてください。
カメラの撮影モードでサムネイルをタッチすることで以前撮影した写真を閲覧することができます。

カメラの使い方（4）

- ビデオの撮り方

ビデオを撮影したい場合はカメラプログラムを立ち上げた後にメニューからビデオを立ち上げてください。

停止（停止ボタンをタッチ）、又は一時停止（一時停止ボタンをタッチ）撮影中ビデオの中断が行えます。

撮影したビデオを見たい場合、サムネイルを選択して閲覧可能なビデオをリストで表示します。
見たいビデオを選択したら撮影したビデオを閲覧することができます。

Bluetooth通信（1）

- BluetoothのOn/Off

メイン画面からワイヤレス状態の項目、又はスタート>設定>ネットワーク接続でワイヤレスマネージャーを選択してください。

ワイヤレスマネージャーのBluetoothをタッチしてBluetoothをOn/Offにしてください。

メイン画面のワイヤレス状態の項目でBluetooth の状態を確認できます。

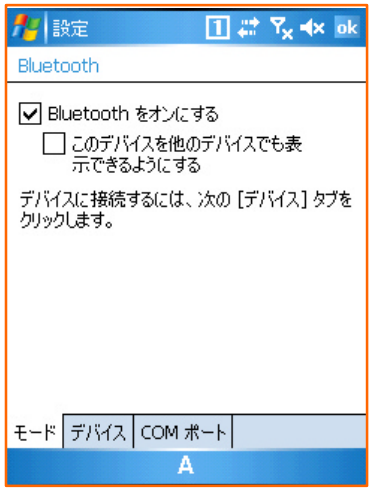
⚠ Bluetooth機能はオプションです。Bluetooth機能が対応していない機種にはBluetoothサービスを使用することができません。

⚠ Bluetoothはウィンドウズモバイルデバイスと直列接続サービス間のファイルの送信と受信をサポートします。

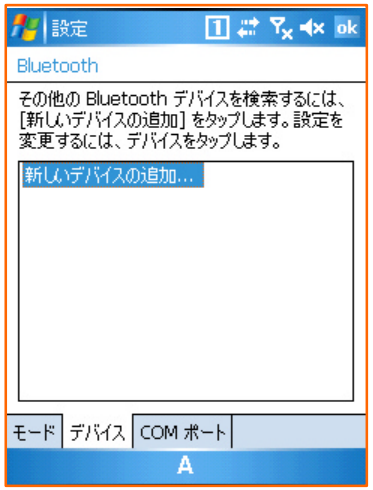
Bluetooth通信（2）

- Bluetoothの設定
  - Bluetoothの設定画面でモード設定、Bluetoothとの接続、COM設定を行えます。

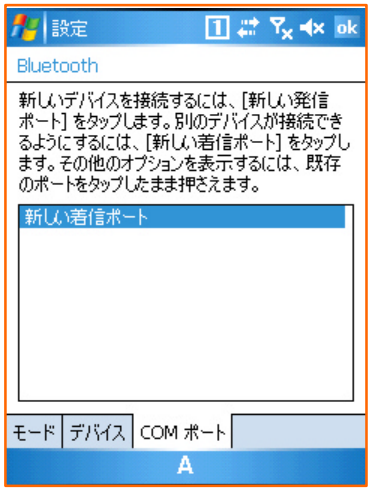
スタート>設定>ネットワーク接続>
Bluetoothをクリックすると
Bluetoothのモード設定 ･接続ができます。



モード設定のタブでBluetoothの
On/Offを設定し、外部からの接続を
可能 ･不可能に出来ます。



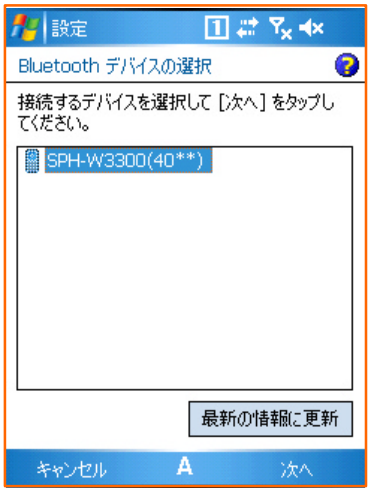
デバイスのタブではその他の
Bluetoothデバイスを検索して
接続することが出来ます。



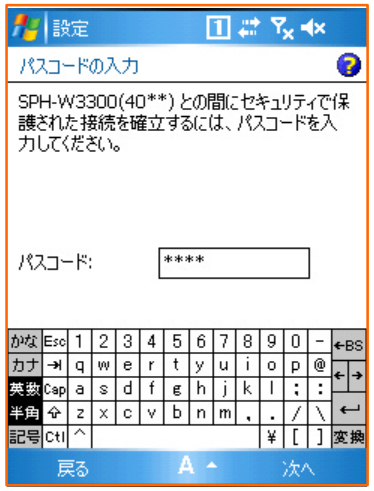
COMポートのタブでは入力と
出力のポートを設定できます。

Bluetooth通信（3）

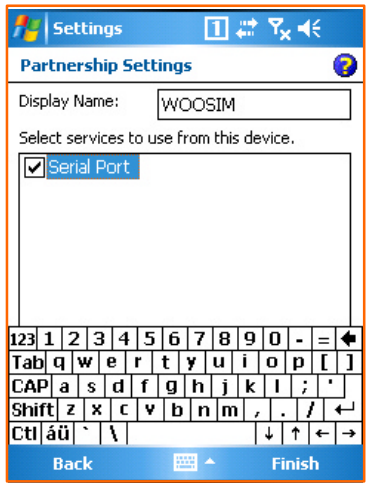
- Bluetoothを接続する
  - Bluetoothデバイスを検索、パスコードを入力、サービスの選択を行うことでBluetoothとの接続を行うことができます。



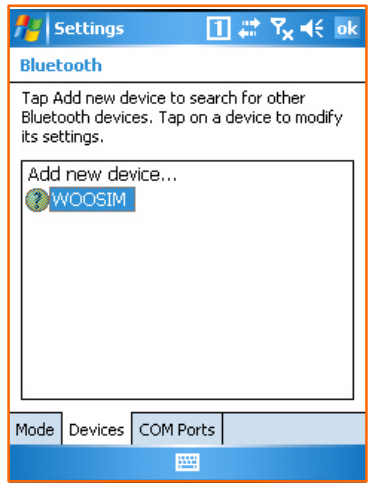
デバイスタブから 最新の情報に更新」を選択するとBluetoothデバイスを検索することができます。
接続したいデバイスを選択して 次へ」を選択してください。
接続したいデバイスが表示されない場合は「リフレッシュ」ボタンをタッチしてください。



接続を確立させるためパスコードを入力してください。
パスコードは固定または事前に双方で設定したパスコードを使用することができます。



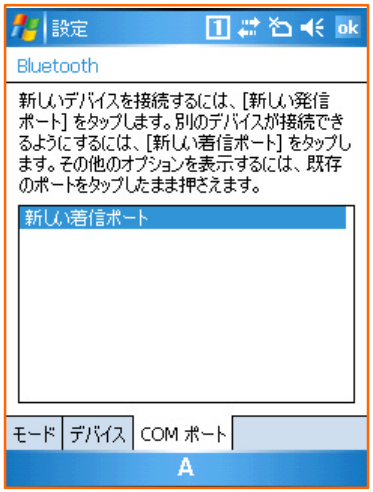
Bluetoothデバイスが対応しているサービスを表示しています。
現在登録済みのデバイスを表示します。）



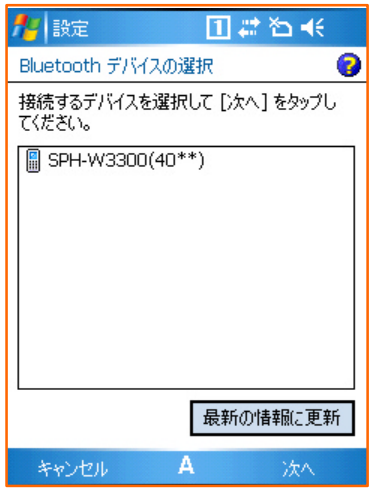
デバイスを追加するには
新しいデバイスを追加する」を選択してください。

Bluetooth通信（4）

- Bluetooth経由でシリアル連結する。
  - 登録したデバイスのCOMポートを設定することが出来ます。

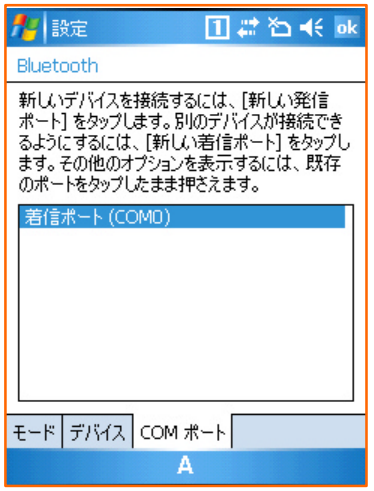


デバイスが登録できたら
COMポートのタブをタッチしてください。
そこから 新規出力ポート」を選択ます。



追加したいデバイスを選択して
次へ」をタッチしてください。

空いているポートを選択して
完了」をタッチしてください。

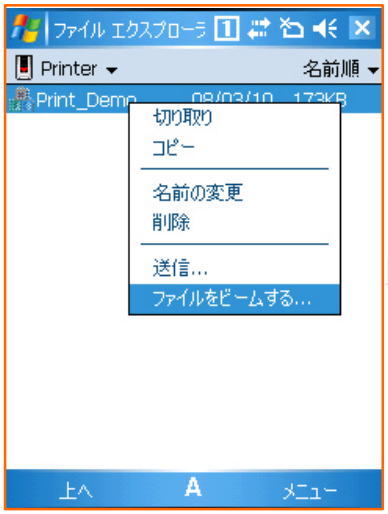


接続が確立されたらデバイスが
対応しているサービスを使用す
ることが出来ます。

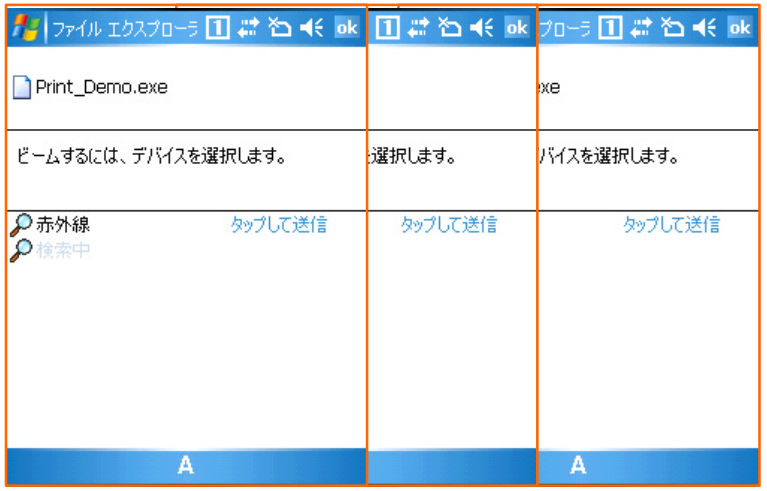
Bluetooth通信（5）

- Bluetooth接続を使ってファイルを転送する
  - Bluetoothを使ってウィンドウズモバイルデバイス間のファイル転送を行うことが出来ます。

Bluetoothを使ってファイルを転送するには
スタート＞設定＞接続＞ビーム
から 全ての着信ビームを受信する」をチェック
してください。



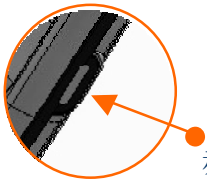
ファイルエクスプローラーから
転送したいファイルを選択してください。
ファイル名を長押しし
「ファイルをビームする」を選択してください。



「ファイルをビームする」をタッチすると、転送可能なBluetoothデバイス
が表示されます。転送するデバイスを選択してください。

赤外線通信

- **赤外線経由で接続を確立する**
  M3 Skyは赤外線通信のOBEXプロトコールに対応しているデスクトップ、ノートパソコン、ポケットPC、PDAと赤外線通信を行うことができます。



赤外線通信ポート

赤外線通信の使い方

- 赤外線通信を確立したいデバイスの赤外線通信ポートを特定してください。
- クイックリンクアイコン＞赤外線通信メニューを選択してください。
- 赤外線通信プログラムが立ち上がり接続が確立されたらデータの交換が可能になります。
- プリンター等との直列接続を確立したい場合はCOMポートを接続することで接続が可能です。

赤外線通信対応のプリンターに接続する

※ なるべく短い距離で通信を行うことをお勧めします。
短い距離のほうがデータの通信速度が速くなります。

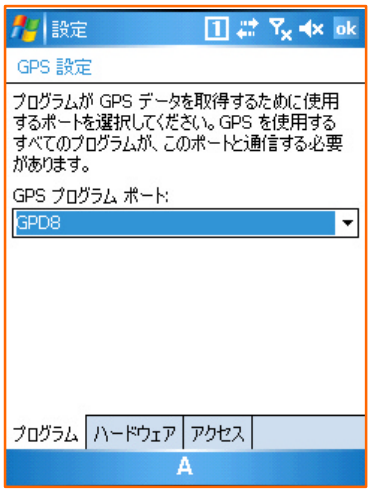
PDAとのファイル転送

⚠ 赤外線通信ポートはオプションです。 赤外線通信ポートの無い機種はこの機能を使用することはできません

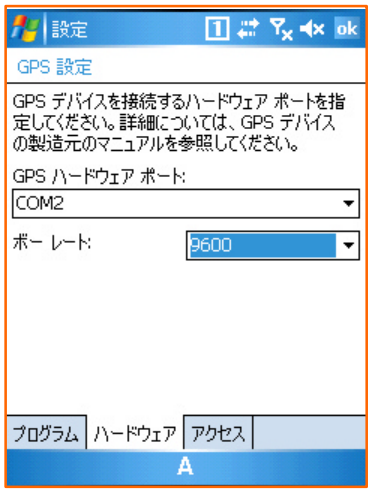
GPSの使い方（1）

- **GPSの設定**
  - スタート＞設定＞システム＞GPSをタッチするとGPSの設定が行えます。

システムタブからGPSを選択してください。



未使用のGPSプログラムポートを設定してください。

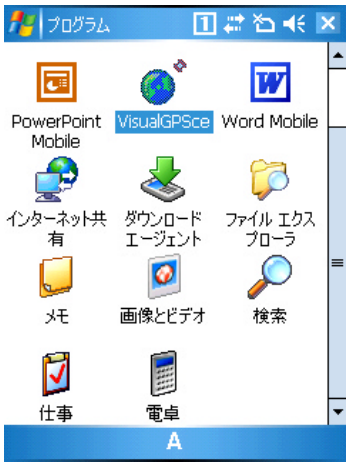


デバイスのハードウェアポートを設定してください。
M3 SkyのGPSハードウェアポートはCOM2で
通信速度は9600です。

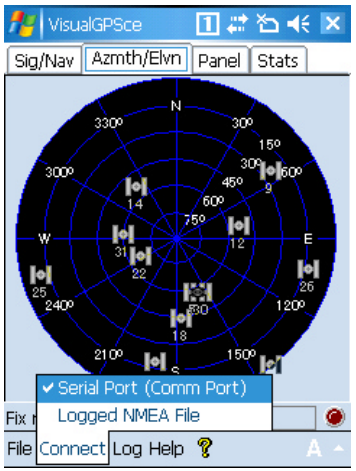
⚠ **GPS機能はオプションです。 GPSモジュールが内蔵されていない機種にはGPS機能を使用することはできません。**

GPSの使い方（2）

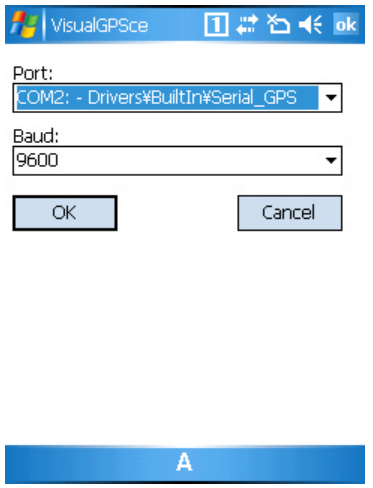
- GPSの接続
  - GPSプログラムが一つのみの場合GPSハードウェアポート（COM2）を使ってください。
    GPSプログラムが一つ以上の場合、あらかじめ設定されたGPSプログラムポートを使ってください。



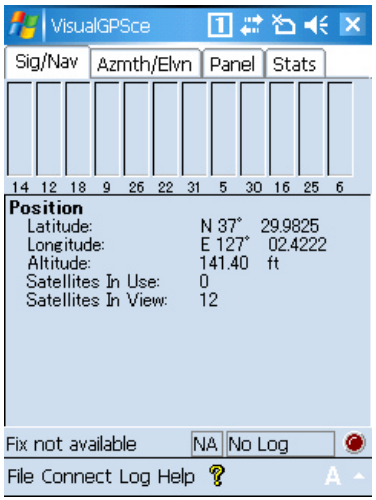
使用したいGPSプログラムを立ち上げてください。



COMポートと通信速度を設定してください。



GPSは現在位置の詮索など、様々な用途で使用できます。



⚠ GPSのサンプルマップはM3Mobile提供ではありません。

スキャナの使い方（1）スキャナプログラム

本機には2種類のバーコードスキャンプログラムがインストールされています。

1．M3ScanTest（M3スキャンテスト）

- 本機のスキャン機能のサンプルテスト用のプログラムです。 ビジネス用途には使用できません。

2．ScanEmul

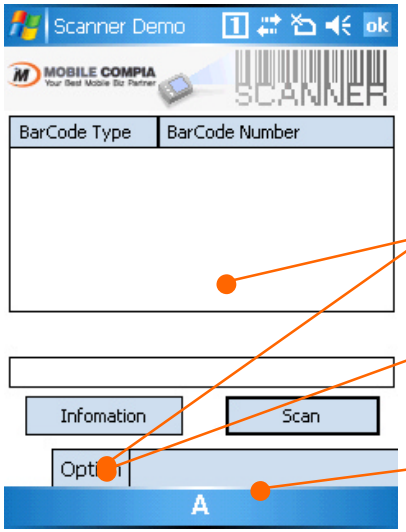
- アプリケーションにスキャンしたデータを出力できるプログラムです。

  （例： MS Word-Pad、Internet Explorer、その他ビジネスアプリ等）

- フラッシュファイルディスク＞スキャナ＞ScanEmul＞実行

スキャナの使い方（2）M3スキャンテスト

- このプログラムはフラッシュディスク＞スキャナフォルダーに入っています。



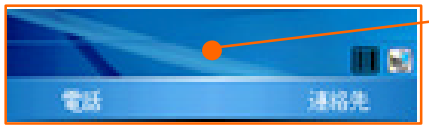
設定を行うときは、このタブをクリックしてください。

スキャンされたデータはここに表示されます。

ファームウェアバージョン、DLLバージョン、
デコーダーバージョンなどの情報が表示されます。

スキャンを開始します。
又、デバイスの右側にある「S」ボタンを使って
スキャンを開始することもできます。

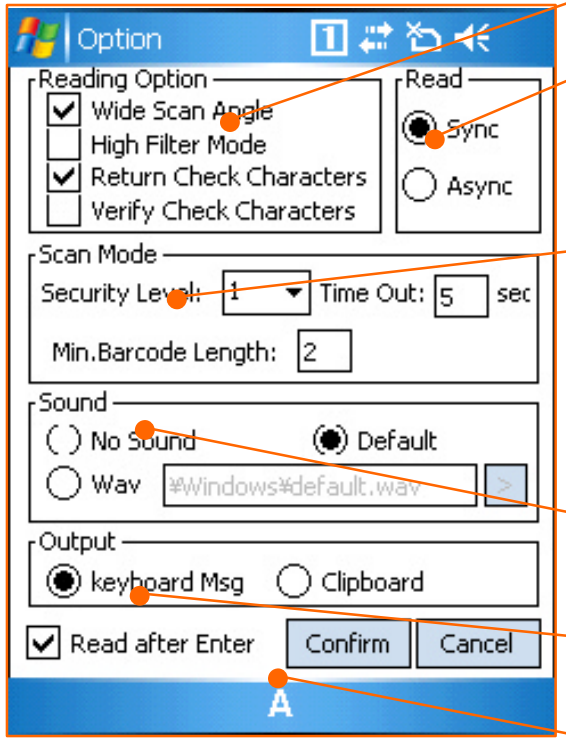
スキャナの使い方（3）ScanEmul



ScanEmulのプログラムを立ち上げるとプログラムのアイコンがタスクトレイに表示されます。 このアイコンからメニューをアクセスできます。

バーコードアイコンをクリックするとこのメニューが表示されます。

スキャナの使い方（4）ScanEmul



読み込みオプションを設定できます。

Sync: バーコードがスキャンされるかタイムアウトするまで走査ビームが発信されます。
Async: スキャンボタンが押されている間、又はタイムアウトするまで走査ビームが発信されます。

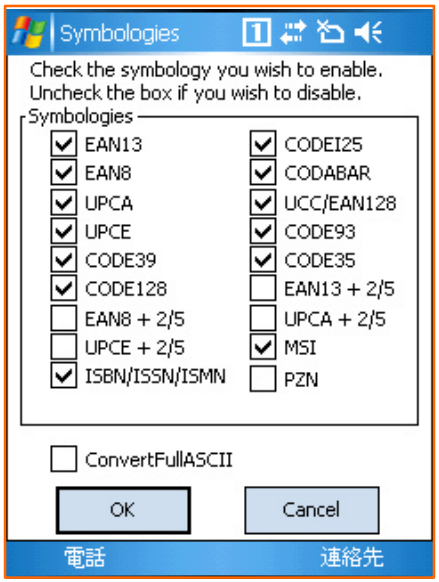
セキュリティーレベル： スキャンしたデータを確認する回数
（例：2回に設定されていると2回スキャンを行いデータが同じか確かめます）
タイムアウト： 設定された秒数、走査ビームが発信されます。
バーコードの最小長： スキャンするバーコードの最小長。

音： データがスキャンされたときに流れる音を設定できます。

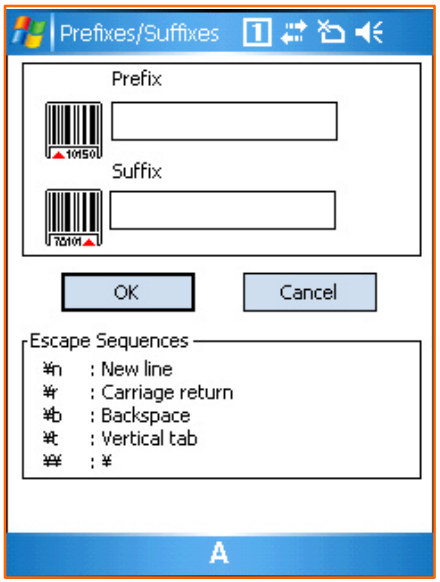
出力： 出力方法を設定できます。

チェックされている場合、バーコードデータの後にエンターコードが表示されます。

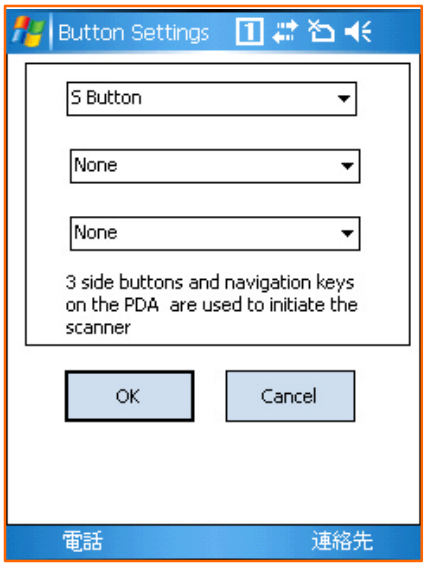
スキャナの使い方（5）ScanEmul



有効にするバーコードの種類を設定できます



バーコードデータの最初と最後に配置される、接頭・接尾コードを設定できます。



スキャンを開始するボタンを設定できます。

スキャナーの使い方（6）スキャンテスト

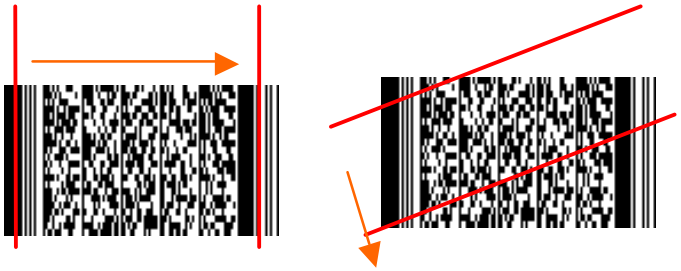
- スキャナの使い方
  - １Dスキャナの使い方(MC-7100S, MC-7500S)

正しいやり方

間違ったやり方

  - ２Dスキャナの使い方(MC-7700S)

正しいやり方

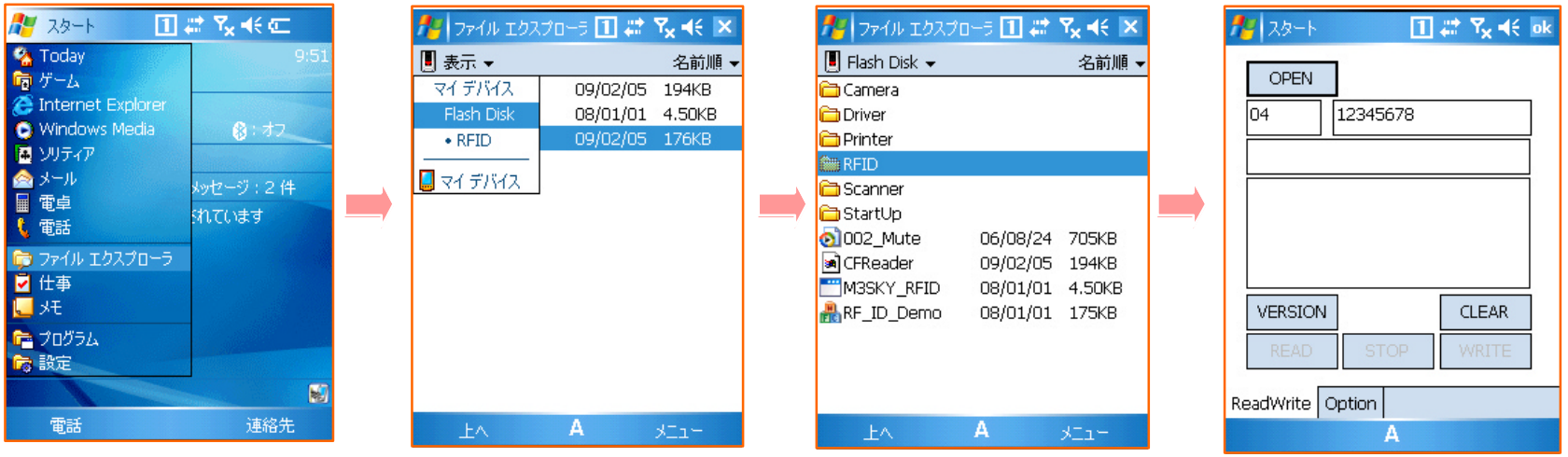


間違ったやり方

⚠ スキャナー機能はオプションです。 スキャナーに対応してない機種ではスキャン機能を使用することはできません。
⚠ ２Dバーコードスキャナ機能はオプションです。
２Dバーコードスキャナを搭載している機種のみで２Dバーコードスキャン機能を使用する事ができます。 (MC-7700S)

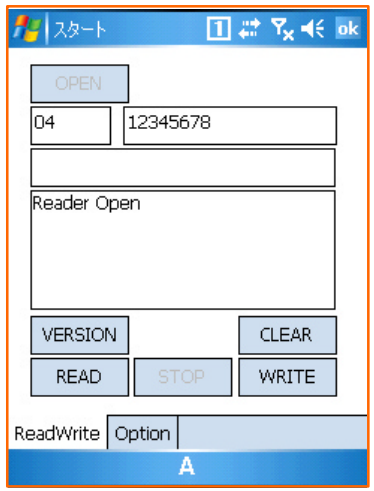
RFIDの使い方（１）

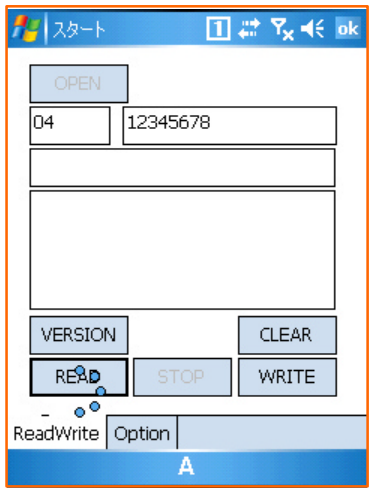
- RFIDの接続
  - スタート＞ファイルエクスプローラー＞フラッシュディスク＞RFIDを選択するとRFIDツールが起動します。

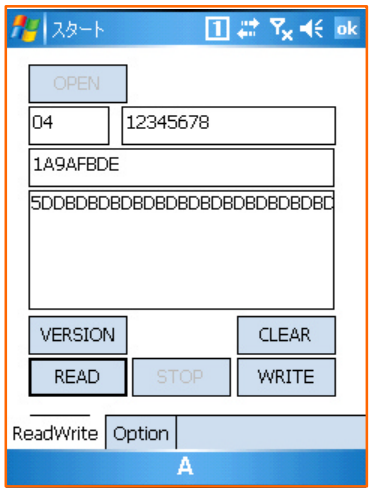


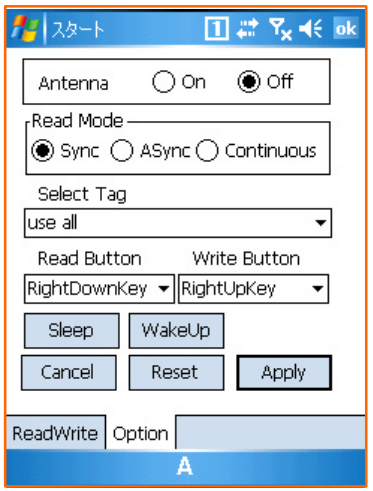
RFIDの使い方（2）

- RFIDの接続
  - 端末の後ろの上方をタグに設置して「読み込む」をタッチしてください。RFIDリーダーがタグを認識します。
  - 読み込みモードをオプションで設定できます。Syncモードではターミナルがタグに設置するとデータを読み込みます。
  - ASyncモードでは自動的にターミナルが周辺のタグを検索しデータを読み込みます。
    持続モードでは手動で止めるまでタグからデータを読み込みます。









読み込みモードをオプションで設定できます。

⚠ 持続モードでは電池の消耗が激しくなります。

RFIDの使い方（3）

- 対応タグ

RF Transmit Frequency	13.56MHz		
Supported Standards	ISO14443A, ISO14443B, ISO 15693, ISO 18000-3, NFC enabled, I-CODE		
Supported Tag-ICs	Mifare® Standard	SLE 55Rxx	Tag-it™ HF-I Standard
	Mifare® 4k	SRF55VxxP+S	Tag-it™ HF-I Pro
	Mifare® Pro	SLE 66CL160S	Jewel Tag
	Mifare® Ultralight	SLE 66CLX320P	Sharp B
	Mifare® DESFIRE	SR176	ASK GTML
	Mifare® SmartMX	SRIX4K	ASK GTML2ISO
	I-CODE SLI (SL2 ICS 20)	LRI 64	TOSMART P032/P064
	I-CODE EPC (SL2 ICS 10)	LRI 512	ISO14443A Tags
	I-CODE UID (SL2 ICS 11)	EM4135	ISO14443B Tags
	I-CODE	KSW Temp Sens®	ISO15693 Tags
	NFC (Reader To Tag Mode)		ISO18000-3 Tags

⚠ RFIDはオプションです。 RFIDの無い機種はこの機能を使用することはできません。
⚠ 対応周波数：13.56MHz

M3 MOBILE
Your Best Mobile Business Partner

www.m3mobile.co.kr

copyright @M3 Mobile Corporation 2008 All Rights Reserved